

		.....	3
		.....	4
§		.....	4
§		.....	4
		.....	5
§	-1	.....	5
§	-2	.....	5
§	-3	.....	6
§	-4	.....	7
§	-5	.....	7
§	-6	.....	8
§	-7	.....	8
		.....	8
		.....	9
§	-1	.....	9
§	-2	.....	9
§	-3	.....	9
§	-4	.....	11
§		.....	12
∅		.....	12
§		.....	12
§		.....	12
§		.....	13
§		.....	13
∅		.....	14
§		.....	14
§		.....	14
§		.....	15
		.....	16
		.....	17
§		.....	17
		.....	17
		.....	19
		.....	24
§		.....	26
		.....	28
§		.....	29
		.....	30
		.....	31
§		.....	33
§	10	.....	35
§	11	.....	38
§	12	.....	40



地域振興特別予算を創設  
併後のまちづくりを軌道に乗せていく」予算

「合



「合併を成功に導くための基礎固め」予算

「少子化対策」「子どもの安全対策」「2007年問題対策」「アスベスト対策」など今日の課題

「合併成功への道筋をつける」予算

財政健全化の指針

である公債費負担適正化計画を守る

今日的課題としては、「安全安心まちづくり」「2007年プロジェクト」「少子化対策」に取り組む

平成20年度は、新中津川市総合計画中期事業推進計画(平成 20 年度～平成 23 年度)がスタートする年

平成17年度から19年度の予算の流れを踏まえ、引続き公債費負担適正化計画を指針として、健全財政を維持  
将来都市像である『豊かな自然と独自の歴史・文化が光る、いきいきとしたふるさと中津川』を実現するための骨格予算として編成

今日的課題事業群 ① 産業振興を図るとともにUIターン住宅の整備を推進し、少子化対策との3点セットで人口減少を食い止め

②地域コミュニティにおいては居場所と出番づくり

③安全安心のまちづくりに取り組んで

④

省資源や省エネルギーを目指した環境

にやさしいライフスタイルへの変革

市役所改革をさらに推し進め、出先機関である地域総合事務所やコミュニティセンターの権限、機能を強化  
この「合併成功に弾みをつける」予算

平成20年2月

中津川市長 大山 耕二

全会計の合計： **70,941,683**千円（対前年度比 **8.1%減**）

一般会計： **34,543,000**千円（対前年度比 **3.2%減**）

（単位：千円、％）

	平成20年度		平成19年度		比較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
一般会計	34,543,000	48.7	35,699,000	46.2	△1,156,000	△3.2
特別会計	21,548,250	30.4	27,627,082	35.8	△6,078,832	△22.0
企業会計	14,850,433	20.9	13,888,561	18.0	961,872	6.9
合計	70,941,683	100.0	77,214,643	100.0	△6,272,960	△8.1

平成 20 年度の予算編成では、4 月に市長選挙が予定されていることから、予算については行政運営上必要な義務的経費を中心とした骨格予算としたことから、一般会計で対前年度比 3.2%の減となっています。

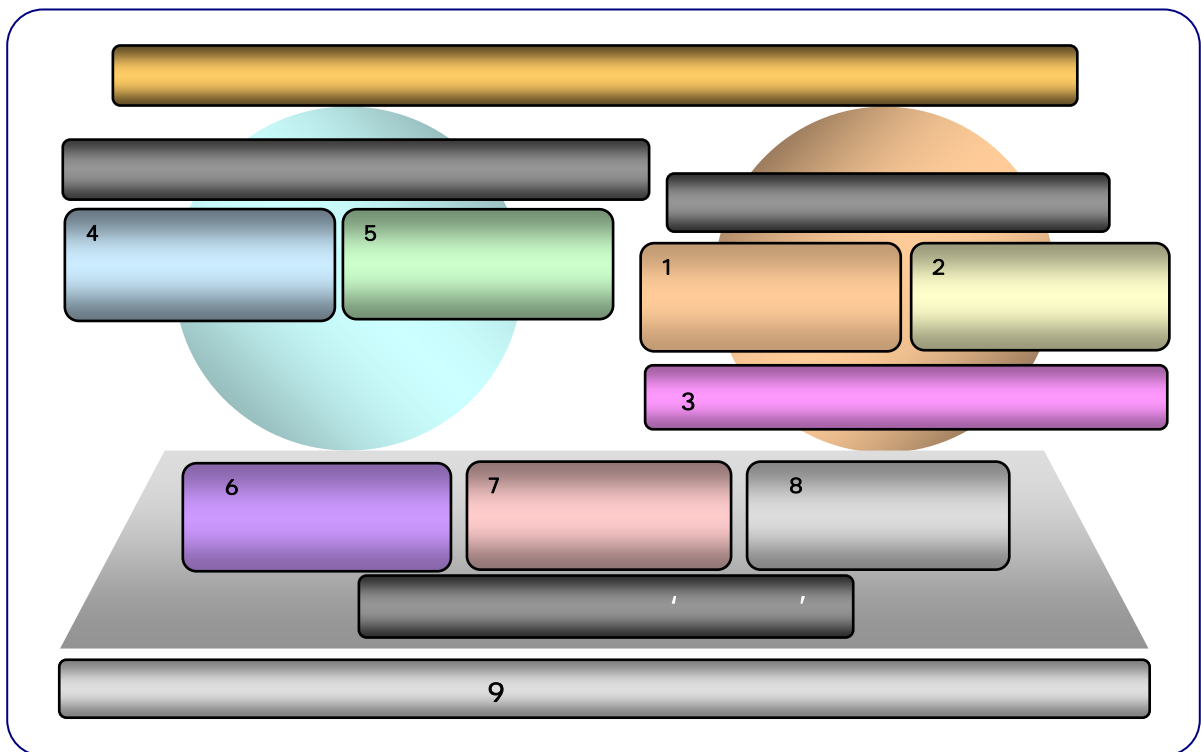
また、特別会計と企業会計を含めた総額は、骨格予算及び老人保健制度から後期高齢者医療制度への移行に伴い、対前年度比 8.1%の減となっています。

義務的経費以外では、具体的には、以下の項目に係る事業を骨格予算として計上しました。

義務的経費以外の骨格予算項目	具体的な主要事業の例
債務負担行為によるもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民病院、坂下病院の電子カルテ導入費用</li> <li>蛭子座改修事業</li> </ul>
県・他市等と共同歩調を約束しているもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>成年後見センター開設事業</li> <li>東濃 5 市連携「医師確保奨学基金制度」設立事業</li> <li>世界遺産登録推進事業</li> </ul>
年度当初から行わなければならない事業（義務的経費以外のもの）	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路整備事業等継続事業</li> <li>教育関連事業</li> </ul>
議会や市政懇談会などで新年度に実施を約束している事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>全市光ファイバー「情報通信ネットワーク整備事業」</li> <li>AEDの計画的な配備</li> </ul>
国の補助事業等で当初予算に計上する必要がある投資的経費	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症地域支援体制の構築事業</li> <li>市道「中津 485 号線」道路改良事業</li> </ul>
緊急性の高い事業及び特に市民要望の強い事業等	<ul style="list-style-type: none"> <li>坂下総合体育館連絡通路改修工事</li> <li>乳幼児等医療費の充実</li> <li>妊婦検診助成の拡充</li> </ul>

-1

- 新中津川市総合計画基本構想を具体化する事業実行計画として、平成 20 年度～平成 23 年度の 4 年間を実施期間とする「中期事業推進計画」を策定しました。
- この事業推進計画は、基本構想で定めるまちづくりの目標、『**豊かな自然と独自の歴史・文化が光る、いきいきとしたふるさと中津川**』を実現するため、9つの柱立てに沿ってそれぞれの施策(小分類)の取り組み方針及び主要な事業を施策の体系ごとに具体化し、将来都市像の実現へ向けて取り組むものです。
- 平成 20 年度予算は、骨格予算としていますが、この事業推進計画の初年度にも当たるため、明日の中津川市づくりの着実な推進を図るうえで必要最小限の事業費を計上しました。



-2

- 各地域の市政懇談会、女性懇談会や移動教育委員会を、市政や地域づくりに対するご意見やご要望等の**市民の声を直接お聞かせいただく「対話の場」**として位置付け、積極的に取り組んできました。
- 市政懇談会については平成 16 年度から平成 19 年度まで各地域 4 巡、女性懇談会については、平成 17 年度(一部地域は平成 16 年度)からスタートし平成 19 年度まで各地域を 3 巡、移動教育委員会については、平成 17 年度からスタートし、平成 19 年度まで各地域 3 巡(平成 18 年度からは地区を統合して実施)しています。

- ここでお寄せいただいたご意見・ご提案については、全て検証し実施すべき項目の洗い出しを行いました。このうち**未実施の項目**については、**緊急性や必要性の高いものから事業化し、すでに着手している事業についても継続事業として予算措置を行いました。**
- 特に総合事務所管内では、生活道路等の維持補修に対するご意見を多くいただいております、それに迅速に対応できるよう各総合事務所長権限で執行できる予算を上乗せして配分しました。

## - 3

- 地方都市である当市といえども現代に共通する重い課題を背負っており、全国的に広がっている社会問題は、市民の暮らしに大きな影響を及ぼしています。
- これらの課題に対しては、**対症療法的な取り組みだけでは不十分**であり、様々な分野から幅広い市民の意見や参画を得ながら**横断的に施策を組み立て推進**していくことが必要です。
- そのため、以下の項目を「**今日的課題事業群**」と位置付け、新総合計画の様々な分野に位置づけている各事業の連携を図り、**事業群として効果的な推進**を図ります。

### 3

(※詳細は 35 ページ)

- 人口減少を食い止めるためには、「産業振興」と「住宅政策」、そして「少子化対策」の 3 点セットが必要となります。

#### (1) 産業振興

- 具体的な政策として、積極的な工場誘致策を進め、雇用の場の確保と産業振興を図ります。
- 中心市街地を活性化するための計画を定め、それに基づき具体的な施策を展開します。
- 地産地消を進めるとともにブランド化を図り、後継者の育成に努めます。

#### (2) 住宅政策

- 若年UIターン者用の住宅整備を計画的に進め、若者の定住を図ります。

#### (3) 少子化対策

- 出生率の低下は社会保障制度など将来の社会基盤を揺るがす大きな課題ですが、当市にとっても、自立し持続したまちとして活力を維持していくうえで、**少子化問題は極めて重要な課題**です。
- そのため、子育て支援、保健・医療、就労環境、U・I ターンによる若者定住、コミュニティ等の分野において、**安心して子どもを生み育てていける良好な環境を整え、産業振興等まちの活力向上につなげていくための施策を推進**します。

(※詳細は 36 ページ)

- コミュニティを維持するためには、地域の子どもたちや高齢者などの「居場所」をつくり、市民がそれぞれの立場で活躍できる「**出番**」を作っていくことが必要です。
- そのためには、その拠点としての総合事務所やコミュニティセンター、各地域集会場の整備を行います。
- 各地域に伝わる伝統芸能の保護・保存、文化スポーツ活動の振興を図り、地域の魅力を高めながら「**居場所と出番づくり**」につなげます。
- また、市民が主体となって行う各地域の創意と工夫を活かした元気な地域づくり活動を支援し、それぞれの立場での「**居場所と出番づくり**」を進めます。

**(※詳細は 36 ページ)**

- いじめによる子どもの自殺、児童虐待や不審者による連れ去りなどの痛ましい事件が毎日のように報道されており、子どもを取り巻く社会環境は悪化の一途を辿っています。子どもの命・人権を大切に、**子どもが安心して健やかに育つ環境は、大人が責任を持って作らなければなりません。**
- そのため、背景を把握し、原因を分析し、いじめの撲滅、子どもの居場所づくり、子どもの安全、青少年健全育成など多角的な観点から、家庭・地域・学校・市役所・警察など多くの**関係機関が共通認識に基づき、力を合わせて、それぞれの役割を果たしていくことが大切です。**
- 「自らの安全は自らが守る、地域の安全は地域で守る」を合言葉に、引き続き「**中津川市安全安心まちづくり基本計画**」の推進を図ります。

**ISO (※詳細は 37 ページ)**

- 地球環境は年々悪化しており、人類共通の緊急課題となっています。そんな中、今年 7 月には地球環境問題をテーマとした G8 サミット(先進 8 カ国首脳会議)が北海道・洞爺湖畔で開催されます。
- 地球環境問題の一番の課題は、地球温暖化対策です。この対策には産業構造の変革はもちろん、私たち市民生活も大きな影響を与えており、環境にやさしいライフスタイルに変えていく必要があります。
- そのために、省資源や省エネルギーなど環境にやさしいライフスタイルへの変革を「**全市環境 ISO 運動**」として提案しながら、環境にやさしくできる施策を実施していきます。

**- 4**

- 合併4年目となる平成20年度は、それぞれの地域の持つ多様性を活かすために、総合事務所やコミュニティセンターが市民と力を合わせて地域の活力を高めて、合併の成功を目指す年です。**
- 豊かな自然や街道文化の特徴を生かし、「多様性のなかの統一」の理念で、「中津川市ここにあり！」と全国に誇れるような「いきいきと光る中津川市」を創っていきます。**
- 地域の課題を解決し、また、合併前から培われてきた地域の多様性を伸ばし活力を高めていくため、それぞれの**地域がまちづくりの方向性を明らかにし、それに向かって進んでいく年として、地域の皆さんと市役所が力を併せて地域づくりに取り組んでいきます。**
- そのためには、地域の基礎単位である区・町内会・消防団やNPO・ボランティア団体の活動、生涯学習・文化・伝統芸能・スポーツ・環境保全などの幅広い活動を支援し、**地域コミュニティの維持、発展を図ります。**
- 市役所はこうした地域の皆さんの活動を支える仕掛けづくりやお手伝いを行っていますが、そのために、従来の「5万6千人の旧中津川市役所」のシステムから脱却を図り、総合事務所、コミュニティセンターも含めて8万6千人の市民サービスを真に担うことのできる「**8万6千人の市役所**」システムを構築していきます。

**- 5****(※詳細は 38 ページ)**

- 合併までは一つの自治体としてそれぞれまちづくりを進めてきたことから、ハード面では学校や保育園、道路や下水道などの社会基盤の整備レベルがそれぞれ異なっており、また、ソフト面では、現在においても団体や地域への支援方法などにばらつきがあります。
- こうした**サービスレベルの不均衡を是正**するため、事業推進計画では「多様性」と「統一」の2つの側面から捉えつつ、地域における優先度に配慮しつつも**市全体を見渡した優先順位付け**を行いました。
- 優先順位付けの結果、地域によっては特定の分野において事業が少なくなるなど**均衡を欠くような**

場合については、他の分野で調整し全体でバランスをとるという手法を採るなど、**地域間バランスにも配慮**しました。

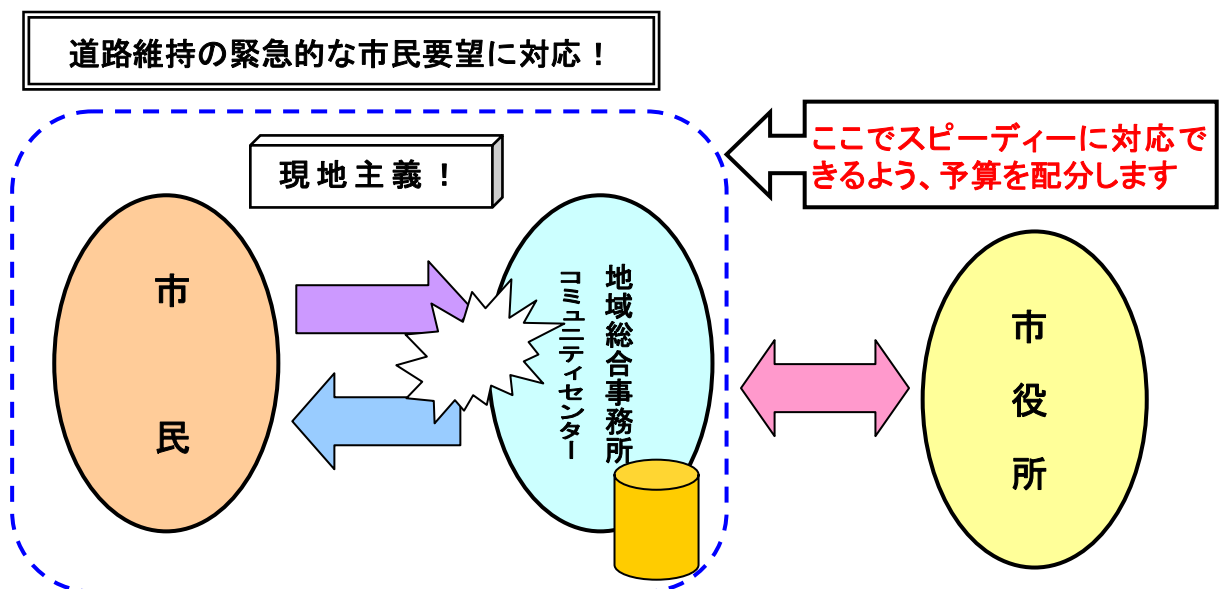
-6

(※詳細は 40 ページ)

- 地域振興特別予算は、各地域の特色ある活動を継続し、地域色が強く今後も守り続けることが必要な事業など地域の多様性を保つための予算です。
- 各地域の「多様性」にかかわるものとして、「独自のイベント」「独自の文化」「新しいまちづくり・産業おこし」「コミュニティの形成」「居場所と出番づくり」に区分して計上しました。
- 昨年度と同様に事業の実施状況について、「独自性」「参画度」「集客性」「産業経済への関与度」の面から検証したうえで予算を計上しました。
- その結果、平成 19 年度の 65 事業 94 件から、平成 20 年度は 68 事業 107 件と、3 事業 13 件の増加となりました。

-7

- 市役所は「市民の願いを実現する」という目的を達成するための組織です。そして、その声にはスピーディーに対応することが求められます。
- しかし、即断即決の権限が各総合事務所になれば、その都度本庁に確認せねばならず、必要なときに必要な対応が取れない・・・ということにもなります。これでは「市民の願いを実現する」ことはできません。
- 平成 22 年度末の職員 850 人体制に向け、市役所の組織のあり方を見直し、各総合事務所所長には、市民の声に即断即決できるようにし、そのための予算を配分することで、少しでもスピーディーに「市民の願いを実現」できるようにしていく必要があります。
- そこで平成 20 年度予算では、道路維持関係予算について例年各総合事務所に配分している通常対応予算に緊急対応に係る予算を上乗せして配当します。なお、施設の維持管理費(市営住宅、教員住宅、学校施設、文化スポーツ施設、観光施設など)についても、拠点となる総合事務所(坂下、福岡)に予算を配分します。



## Ⅱ－1 市の経営計画

中津川市の経営方針となる行財政運営の基本的な考え方は、大きく分けて

- ① 新しい中津川市役所を創っていく「行政改革」
- ② 健全財政の推進を図るための「財政計画」
- ③ 明日の中津川市づくりを進める「新総合計画」及びその「事業推進計画」

からなります。

この経営方針を堅持し、合併特例債、地方交付税等合併による優遇措置のある合併後 10 年までの間に出来るだけ高いレベルの行政サービスを実現するよう、必要な事業を実施し、合併後 11 年以降も自立的で持続的な、夢の持てる中津川市を実現していきます。

## Ⅱ－2 行政改革

8 6

## Ⅱ－3 財政計画

収支バランスを将来にわたって保ち、健全な状態で施策や事業を推進するための「中期財政計画」(市の財政全般の計画)と、平成 18 年度決算における実質公債費比率 20.8%を、その基準である 18%を下回るように借金返済額を長期的にコントロールするための「公債費負担適正化計画」(市の借金とその返済計画)により、健全財政の推進を図ります。

### ① 見直し後の財政計画の内容

財政見直しでは、家計の収入にあたる歳入は、合併により交付税が増額される期間が終了する平成 27 年度以降、地方交付税が大幅に減少します。一方で、家計の支出に当たる歳出は徐々に減少しますが、大幅な減少項目はないため、収支で見ると歳出が歳入を大幅に上回り、いわゆる赤字になってしまいます。

そこで、市の将来像を見据え、**将来も収支バランスの取れた財政運営**を目指し、**計画的な財政運営により健全財政を推進**するため、次の 2 つの視点から下表の財政計画を作成しました。

- ・ 施設の「整備型財政」から「活用型財政」への移行を想定した財政計画
  - 平成 26 年度までに必要な施設整備を終え、平成 27 年度以降は、公共施設を長期にわたり維持・活用し、市民の方にサービスを提供してまいります。
  - 将来財政の硬直化を招かないよう、市債の割合を大幅に削減し、借金残高を減らします。
- ・ 行政改革による徹底した歳出削減
  - 平成 27 年度までに人件費・公債費・行政運営費を中心に徹底した歳出削減を行います。

平成 20 年度中津川市当初予算の概要

	平成19年度 当初予算	前年 度比	平成20年度	前年 度比	平成21年度	前年 度比	平成22年度	前年 度比	平成23年度	前年 度比	平成26年度	23年 度比	平成29年度	26年 度比	平成32年度	29年 度比
<b>歳 入</b>	357	▲13	339	▲18	343	4	340	▲3	329	▲11	325	▲4	280	▲45	262	▲18
市税	104	4	106	2	106	0	106	0	106	0	106	0	106	0	106	0
地方交付税	107	▲15	104	▲3	102	▲2	100	▲2	98	▲2	92	▲6	72	▲20	53	▲19
国からの交付金等	29	▲13	27	▲2	27	0	27	0	27	0	27	0	27	0	27	0
市債（施設整備分）	24	6	26	2	26	0	28	2	23	▲5	21	▲2	6	▲15	6	0
その他 （国庫補助金等）	93	5	76	▲17	82	6	79	▲3	75	▲4	79	4	69	▲10	70	1
<b>歳 出</b>	357	5	339	▲18	343	4	340	▲3	329	▲11	325	▲4	280	▲45	262	▲18
義務的な経費	238	3	234	▲4	238	4	235	▲3	224	▲11	220	▲4	201	▲19	185	▲16
人件費	84	▲1	77	▲7	81	4	74	▲7	69	▲5	71	2	66	▲5	61	▲5
公債費	62	1	59	▲3	58	▲1	61	3	63	2	56	▲7	43	▲13	35	▲8
扶助費	35	4	35	0	35	0	35	0	36	1	37	1	38	1	39	1
繰出金（義務的）等	57	▲1	63	6	64	1	65	1	56	▲9	56	0	54	▲2	50	▲4
その他の経費	119	2	105	▲14	105	0	105	0	105	0	105	0	79	▲26	77	▲2
行政運営費	69	▲3	63	▲6	63	0	63	0	63	0	63	0	60	▲3	58	▲2
施設等整備費	50	5	42	▲8	42	0	42	0	42	0	42	0	19	▲23	19	0
歳入－歳出	0		0		0		0		0		0		0		0	

## ② 歳入計画

【市税】産業振興などによる税収確保を図り、平成 20 年度規模の維持を見込みました。

【地方交付税】年々減少し、平成 27 年度以降は合併特例期間が終了するため、合併による増額分も段階的な減少を見込みました。

【国からの交付金等】概ね現状維持を見込みました。

【市債】合併特例債の利用が可能な平成 26 年度までに必要な施設整備を終え、以降は毎年 6 億円と見込みました。

## ③ 歳出計画

【人件費】平成 22 年度末に 850 人体制とし、その後徐々に減じていくと見込みました。

【公債費】平成 26 年度まで積極的に繰上償還に取り組み、減額を見込みました。

【繰出金】通常の繰出し分に加え、下水道事業、病院事業に対し、一般会計で合併特例債を借りて繰り出す分を見込みました。

【行政運営費】外部評価委員の意見を反映するなど、徹底した削減に努め、平成 20 年度で前年比 6 億円減と見込みました。

【施設整備費】平成 26 年度までは毎年 42 億円、以降は 19 億円を確保する見込みとしました。

## ④ 財政規模

現在の中津川市の財政規模は、合併による人件費の増加や合併前の公共事業に伴う借金返済額がピークにあること、そして下水道事業会計などへの繰出金が多いことなど、義務的経費が嵩んでおり、全国の類似団体と比較しておよそ 1.2 倍となっています。

財政計画における合併 15 年、20 年後の財政規模は、合併特例措置が終わる地方交付税や合併特例債の活用事業の終了による大幅な歳入歳出の減額、施設の整備型から活用型財政への移行に伴う人件費、公債費の減少を考慮しました。

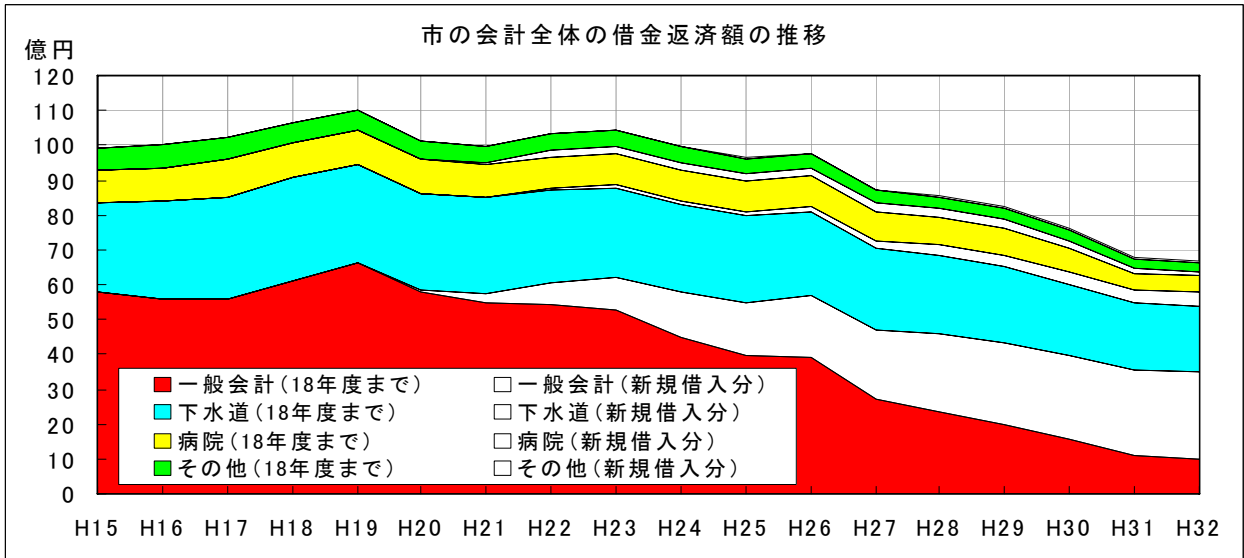
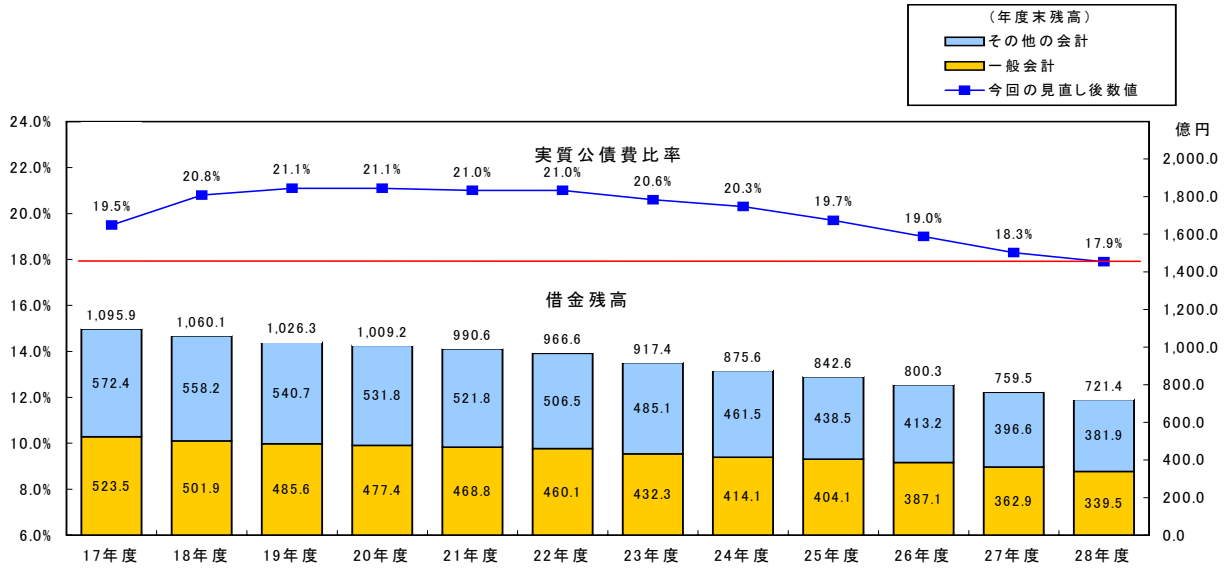
## Ⅱ－４ 公債費負担適正化計画

平成 18 年度に作成した計画では、実質公債費比率が「自治体の借金度合いの安全ライン」といわれる 18%を下回る年度を平成 26 年度としていましたが、平成 19 年度に国が実質公債費比率の算出ルールを変更したことにより、18 年度の計画のままでは、18%を下回るのが平成 31 年度と 5 年伸びることとなります。

今回、計画を見直し平成 31 年度となるのを 3 年短縮し、平成 28 年度に 18%を下回る計画としました。

計画では、中期事業推進計画に従い計画的な施設整備を行うことにより借金をコントロールするなど、以下の取り組みにより健全財政の推進を図ります。

実質公債費比率の推移



毎年の起債額を元金償還額以内とします。  
 国や県の補助金をより多く獲得します。  
 交付税算入率の高い有利な地方債を活用します。

特別会計・企業会計の自立化を図ります。

⑤ 繰上償還を行います。

## 健全財政推進の関連資料

(単位:千円)

	外部評価	予算反映状況							
		廃止したもの		廃止には至らないものの縮小・節減したもの		廃止はせず、現状維持又は増額のもの		予算反映合計	
		件数	(※1)金額	件数	(※1)金額	件数	(※1)金額	件数	(※1)金額
廃止	49	4	▲3,114	9	▲3,852	12	2,486	25	▲4,480
廃止	7	2	▲1,691	3	▲1,713	0	0	5	▲3,404
休止	1	0	0	0	0	0	0	0	0
整理・統合	31	2	▲1,423	5	▲1,239	10	2,163	17	▲499
民間団体にゆだねる	10	0	0	1	▲900	2	323	3	▲577
縮小	80	1	▲789	48	▲63,690	27	4,224	76	▲60,255
合計	129	5	▲3,903	57	▲67,542	39	6,710	101	▲64,735

(※1)金額は、平成19年度当初予算額に比べ増減した額

(※2)外部評価の件数の合計129件と予算反映状況欄の予算反映合計における件数の合計101件との差28件については、19年度で既に廃止したもの、制度改正によるもの、他の事業に統合したもので外部評価による予算削減等の状況を把握することが困難なものです。

(単位:千円)

活用事業	20年度予算額	市民力活用による削減額	備考
市民による凍結防止対策のための高木伐採	3,000	▲1,960	
市民による道路、側溝整備のための原材料費支給と重機借上げ	8,000	▲5,143	
市民によるウォーキングの道づくり	900	▲1,110	
市民による子どもの通学路パトロールを行う。	124	測定不能	
市民を対象に防災に対する意識、知識、技能を習得した防災士を育成し、防災力の強化を図る。	150	測定不能	
自主防災リーダー養成研修などを行い、自主防災組織を育成し防災力の強化を図る。	3,264	測定不能	
「私が講師！」事業	375	測定不能	
市民による文化的な講座の開講			
子育てサポーター養成講座	280	測定不能	
市民による子育て支援体制づくり			
芸能文化人づくり事業	2,354	測定不能	
市民による伝統芸能の保存継承活動に対する支援			
合計	18,447	▲8,213	

(単位:千円, 人)

	20年度予算額		19年度予算額		差 引		19年度比 (%)	備考
	金 額	職員数	金 額	職員数	金 額	職員数		
職員人件費(二役除く)	6,809,482	879	7,421,255	925	▲ 611,773	▲ 46	91.8	
給料	3,413,622		3,590,099		▲ 176,477		95.1	
手 当	2,465,691		2,881,499		▲ 415,808		85.6	
うち退職手当	431,376		765,818		▲ 334,442		56.3	
共済費等	930,169		949,657		▲ 19,488		97.9	

(単位:千円)

	20年度予算額	19年度予算額	増 減 額	備 考
負 担 金	295,495	293,779	1,716	
補 助 金	630,767	687,079	▲ 56,312	
交 付 金	537,504	538,616	▲ 1,112	
合 計	1,463,766	1,519,474	▲ 55,708	

制度改正により20年度新規に計上されたもの、単年度限りの性格のもの、市の会計間の内部取引的なものは除きました。

【負担金】 後期高齢者療養給付費負担金、病院事業会計・水道事業会計、県営事業負担金等は除きました。

【補助金】 企業誘致に係る奨励金等は除きました。

【交付金】 選挙交付金は、除きました。

※増減額の合計▲55,708千円には、外部評価による削減額▲14,063千円が含まれています。

(単位:千円)

産 業 振 興 策	20年度予算額	備 考
企業立地強化事業 (企業立地・事業所設置・雇用促進奨励金)	252,898	奨励金の交付による地元企業の増設、移設の支援、新たな企業の立地の促進。誘致フェア等市外、県外企業への積極的な誘致活動を実施。
企業誘致した合板工場事業協同組合への助成	35,728	農山漁村活性化プロジェクトに沿って合板工場事業協同組合への助成を行う。
企業誘致した合板工場事業協同組合への助成	114,285	フォレストコミュニティ総合整備事業に沿って合板工場事業協同組合への助成を行う。
間伐材供給計画作成業務委託料	5,000	企業誘致した合板工場事業協同組合に対し、間伐材等の供給量と供給に必要な整備計画を策定。
小学校の児童用机・椅子導入促進事業	3,150	県産材を利用した机、椅子の導入。
中学校の生徒用机・椅子導入促進事業	1,575	県産材を利用した机、椅子の導入。
名古屋城本丸御殿復元支援事業	2,666	名古屋城本丸御殿復元を期に、名古屋圏を中心に中津川市の木材・建築・木工産業等のPR実施。
地域木造住宅供給促進事業	15,569	大黒柱の贈呈事業、産直住宅PR事業。
立木乾燥実証実験事業	1,256	立木乾燥による効果を検証し木材付加価値を高め、東濃ひのきブランド化と木材産業の活性化を図る。
企業との協働による森づくり推進事業	人件費対応	企業による森林整備事業を誘致し、森林保全と都市との交流による産業振興を図る。
ミネラル野菜ブランド化確立事業	1,334	ミネラル栽培により野菜の付加価値を高め、ブランド化を図る。
ぎふクリーン農業推進事業(栗生産基盤整備対策)	2,166	栗樹園地の新改植を行い産地化を図る。 総事業費5,000千円
地産地消推進事業	3,539	おはよう朝市事業・農産物販路拡大支援事業等により農産物の販路拡大を図る。
チャレンジショップ出店事業	1,148	名古屋市内にアンテナショップを試行出店し、PRと観光を軸に産業振興の動向を探る。
計	440,314	

(単位:千円)

補 助 制 度 名	事 業 名	補助金額
地域介護・福祉空間整備等交付金(国庫支出金)	認知症高齢者グループホーム建設費補助金	15,000
認知症地域支援体制構築等推進事業(県支出金)	認知症地域支援体制構築等推進事業(モデル事業)	4,012
農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業(県支出金)	林業用機械整備事業	6,396
農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業(県支出金)	企業誘致した合板工場事業協同組合への助成事業	35,728
フォレストコミュニティ総合整備事業(県支出金)	企業誘致した合板工場事業協同組合への助成事業	114,285
未整備森林緊急公的整備導入モデル事業(県支出金)	間伐等森林整備事業	8,750
家庭教育支援基盤形成事業(県受託事業)	子育てサポーター養成講座 職場で学ぶ子育てミニ講座	1,246
地方道路整備臨時交付金(国庫支出金)	坂本203号線道路改良事業	27,500
住宅・建築物耐震化促進事業(国庫支出金)	建築物等耐震化促進事業	500
安全・安心な学校づくり交付金(国庫支出金)	小学校大規模改造補強事業(阿木小学校屋内運動場)	2,900
合 計		216,317

(単位:千円)

地 方 債 名	20年度		19年度		差 引
	当初予算額	起債額に占める割合	当初予算額	起債額に占める割合	
起債総額	3,029,800	-	3,525,400	-	▲ 495,600
うち合併特例債	1,521,700	50.2%	1,997,900	56.7%	▲ 476,200
うち辺地対策事業債	176,400	5.8%	66,400	1.9%	110,000
うち過疎対策事業債	63,900	2.1%	46,700	1.3%	17,200
合併特例債、辺地債、過疎債合計	1,762,000	58.1%	2,111,000	59.9%	▲ 349,000

## 合併特例債

(単位:千円)

事 業 名	事 業 費	合併特例債	備 考
情報通信ネットワーク整備事業	923,345	699,600	
消防ポンプ自動車更新事業	19,110	4,200	
小型動力ポンプ積載車更新事業	9,752	4,500	
小型動力ポンプ更新事業	3,400	3,200	
道路新設改良事業	280,440	173,400	
UIターン者用住宅整備事業	111,866	106,100	
県営農免農道整備事業(乙姫地区)	24,099	22,700	
小学校大規模改造補強事業	4,083	3,800	
中学校大規模改造補強事業	28,335	26,900	
蛭子座改修事業	226,583	147,200	
公共下水道事業(坂本処理区)	99,640	22,400	繰出金
農業集落排水施設事業(阿木地区)	292,212	33,800	繰出金
病院事業(電子カルテ導入事業)	1,247,400	273,900	負担金
合 計	3,270,265	1,521,700	

## 辺地対策事業債

(単位:千円)

事 業 名	事 業 費	辺地対策事業債	備 考
県営中山間地域総合整備事業(恵北地区・付知)	46,589	46,500	
県営水環境整備事業(椈の湖地区)	28,875	28,800	
県単林道改良事業(加子母・一の谷)	7,000	3,500	
道路新設改良事業(神ノ木～杉ヶ平線)	42,610	42,600	
道路新設改良事業(宮脇～矢平線)	50,000	50,000	
椈の湖多目的施設整備事業	10,000	5,000	
合 計	185,074	176,400	

## 過疎対策事業債

(単位:千円)

事 業 名	事 業 費	過疎対策事業債	備 考
耐震性防火水槽(山口)	6,000	6,000	
道路新設改良事業(山口14号線)	2,700	2,700	
団体営土地改良事業(青木平地区)	4,410	1,500	
県営農免農道整備事業(ふるさとつばき街道・山口)	53,750	53,700	
合 計	66,860	63,900	

- 平成 20 年度は、4 月に市長選挙が予定されていることから、基本的には骨格予算として編成しました。しかし、合併 4 年目に当たる今年、合併成功に向けて「新中津川市総合計画・中期事業推進計画」をスタートさせる重要な年でもあります。総合事務所やコミュニティセンターの権限を強化し、合併成功をめざし、豊かな自然や街道文化の特徴を生かし、「多様性のなかの統一」の理念で、「中津川市ここにあり」と全国に誇れるような「いきいき光る明日の中津川市」を創っていきます。
- 財源が厳しい中においても、しっかりと行政サービスが持続的に提供可能な自治体への変革を目指し、中期財政計画、公債費負担適正化計画を尺度とした財政の健全運営の中で、市民要望に基づく施策や今日的課題にも積極的に取り組み、「総合計画中期事業推進計画」を着実に実行するための予算として編成しました。
- 以下に、各「施策の柱立て」の目玉事業をお示しします。

※下表中の取り組み項目横の数字「-〇〇」は、個別の事業を掲載したページを示します。

**豊かな自然と独自の歴史・文化が光るふるさと中津川**

**4 豊かな自然と美しい中津川をつくります**

- 循環型社会の構築
  - § 循環型まちづくり「資源回収事業」 -26
- 豊かな自然の保全と活用
  - § 環境にやさしいライフスタイルの変革 -27  
(省資源・省エネルギーによる全市環境ISO運動の推進)
- きれいな中津川づくり
  - § 馬籠・落合・本町地区のまちなみ景観整備への支援 -27

**5 キラリと光る歴史・文化の中津川をつくります**

- 歴史・文化を大切にしたいまちづくり
  - § 地域における文化活動への支援 -28
  - § 蛭子座の改修 -28
  - § 世界遺産登録に向けての取り組み -28
- 多様な文化とのふれあいの促進
  - § ウオーキングの道づくり事業の推進 -28

**2 安全で便利な暮らしをつくります**

- 安全な暮らしの確保
  - § 防災情報の多重化 -19
  - § 中学校 6 校・公共施設 3 箇所に AED を配置 -20
  - § 耐震化の促進 -20
- 便利な暮らしづくり
  - § 坂本深沢交差点渋滞解消の調査研究 -22
  - § 道路維持補修要望に対する緊急対策 -22
  - § 情報通信ネットワークの整備 -23
  - § UIターン者用住宅の建設 -23

**いきいきとしたふるさと中津川**

**1 安心できる温かい福祉のまちをつくります**

- 障害者や高齢者等がいきいき暮らせる社会づくり
  - § 障害者雇用促進協会の運営 -17
  - § 人権と財産を守る「成年後見センター」の開設 -17
- 安心して子育てができるまちづくり
  - § 妊婦健診・特定不妊治療費助成の拡充(母子保健事業) -18
  - § 放課後の居場所づくり「学童保育所の運営支援」 -18
  - § 外来小6・入院中3まで「乳幼児等医療費助成の拡大」 -18
- 健康で明るい暮らしづくり
  - § 公立病院高度化のための電子カルテ導入 -18
  - § (東濃 5 市連携) 医師確保のための奨学金制度の創設 -18

**3 産業を活発にし、働く場を充実します**

- 製造業の振興と新たな産業の創出
  - § 企業立地の推進(奨励金の増額) -24
  - § 「産・学・官」の交流の場づくり -24  
(講演会・企業ニーズと大学シーズとのマッチングの場)
  - § 雇用対策事業 -24  
(働く人材と企業の橋渡し・若者雇用の促進)
- 地場産業の振興
  - § 産直住宅建設支援事業 -24
  - § 合板工場立地事業 -25
- 農業・林業・畜産業の振興
  - § 企業との協働による森づくりの推進 -26
- 商業と観光の振興
  - § チャレンジショップ -26

**まちづくりを支える‘ちから’**

**6 たくましく生きる人づくり**

- 子どもたちの生きる力を育てる教育の推進
  - § 特別支援助手の配置 -29
  - § 絵本で子育て人づくり(幼児教育の充実) -29
- スポーツ・生涯学習の推進
  - § 坂下総合体育館の連絡通路の安全対策 -29
  - § 生涯学習の推進「私が講師! 事業」の実施 -30
- 人権が尊重される社会の形成
  - § いじめ対策の推進 -30

**7 互いに助け合うコミュニティづくり**

- コミュニティの形成
  - § 市民の協力による生活道路の整備 -31
  - § 苗木コミュニティセンターの建設 -31
  - § 地域集会施設整備への支援 -31

**8 市民が主役の市役所づくり**

- 行政改革の推進
  - § 市民による行政評価の実施 -31
  - § 職員提案による事務改善 -32
  - § 女性懇談会の開催 -32



8,832

障害や発達のおまずきを早期に発見し、関係機関で子どもの理解と適切な支援に関する情報を共有し、連携の下、継続的な発達支援を行います。

- ※ 発達支援センター「つくしんぼ」内に「発達相談室」を設置し、専門スタッフによる相談、支援を行っています。



【写真：発達支援センターつくしんぼ】

56

視覚障害者の社会進出を促進するため、官公庁手続きや通院の際にガイドヘルパーを派遣します。

100

市と企業等関係機関の連携による障害者雇用対策の協議・検討を行う中核的機関としては、県下初となる障害者雇用促進協議会において就労に効果的な施策、雇用の場の確保等の検討、セミナーの開催、積極的に障害者雇用を行っている企業の表彰などを行います。



10,615

認知症や精神・知的な障害のため判断能力が不十分な方の人権を守るため、恵那市と共同で成年後見センターを開設します。

4,012

在宅介護支援センターを核とし、市内 14 地区に地域推進ネットワークを構築し、事例検討会や認知症啓発活動を行います。

16,500

第3期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に基づき、事業所が計画した認知症高齢者グループホーム整備に対して助成を行います。

35,771

母子の健全な育成を図るため、乳幼児健診を実施するとともに、母親等保護者が育児の不安を気軽に相談することができ、子育てに自信が持てるよう支援を行います。

- ± 妊婦健康診査の助成を 2 回から 5 回に増やします。
- ± 特定不妊治療費の助成を年 1 回から 2 回に増やします。

36,903

保護者が安心して働くことができ、児童の健全な育成が図れるよう、学童保育所(放課後児童クラブ)の運営へのサポートを行います。



【写真:学童保育所の様子】

225,657

現在、就学前までの通院医療費及び小学校 6 年生までの入院医療費について、社会保険法に基づく自己負担額相当分(所得制限なし・入院時の食事負担額は対象外)を助成していますが、少子化対策の観点から若年層世帯の医療費負担の軽減を図るため、助成の対象を拡大します。

- ± 通院医療費の自己負担額相当分(所得制限なし)の助成を小学校 6 年生まで拡大します。
- ± 入院医療費の自己負担額相当分(所得制限なし・入院時の食事負担額は対象外)の助成を中学校 3 年生まで拡大します。

1,247,400

中津川市民病院と坂下病院では、それぞれ1患者1カルテになり、情報が一元化されリアルタイムでの医療業務の進行が可能となります。このため、患者さんの取り違え、二重投薬、検査漏れなどが機械的に防止できるとともに、医療にかかる時間が短縮されます。

12,960

中津川市民病院では、患者さんに対するきめ細かい看護を行うため、看護師を増員し、現在の10対1の看護体制(平均して患者さん10名に対し常時看護師1名の割合で配置)を、7:1にします。

5

5,080

東濃 5 市が連携して医師確保のための奨学基金制度を設立し、将来東濃の公的医療機関に医師業務に従事しようとする学生を募集します。

2

3,414

自主防災組織の強化を図るため、防災訓練の実施、自主防災リーダーの養成、防災資機材の整備及び防災士の養成支援などを行います。

5,195

新たに市内大手スーパー、コンビニなどと食糧品、生活必需品の流通備蓄の確保を図るため協定を結ぶとともに、災害時に最低限必要な応急機材・食糧・生活用品などを市本庁舎にある防災備蓄倉庫を中心に各コミュニティセンター・総合事務所・避難所などへ計画的に備蓄します。



【写真:防災備蓄倉庫の外観と内部】

既存の防災行政無線を維持管理しつつ、暫定的統合への整備をすすめ、市民安全情報ネットワークや光ファイバー網を活用した多角的な情報伝達に取り組んでいきます。

10,134

安全安心まちづくり基本計画に基づき、関係機関が連携してそれぞれの役割を果たし、市民が安全で安心して暮らせるための対応を図ります。(生活安全専門員の配置を新規に実施)

238

市民から危険箇所の報告を受け、現地の点検を実施し、関係部署と連携をとり必要な整備や改善を図ります。

3,495

市内の小中学校、幼稚園、保育園、体育施設及び公共施設にAED(自動体外式除細動器)を計画的に設置し、緊急時に備えます。

- ・ 中学校 6 校、公共施設 3 箇所



【写真:市役所に設置されているAED】

112,264

市民生活の安全安心を確保するため、中津川市耐震改修促進計画を策定し、公共施設や一般住宅の耐震化を促進します。

また、市民の耐震化に対する意識の醸成を図るため、シンポジウムなどの啓発事業を行います。

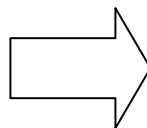


3,000

道路の凍結防止のため、日陰になりやすい場所の樹木を落葉樹に替え、冬期に道路への日光を多く入れることで路面凍結及び積雪期間を短縮し、スリップ事故を防止し交通の安全を確保します。そのため、必要な箇所を調査し、地元の皆さんのご協力による伐採等を進めます。



実施前



実施後

11,749

幼児から高齢者まで年齢に応じた交通安全教育の充実に努め、市民の交通安全意識の高揚を図ります。

32,262

複雑多様化している災害に対し、消防力の均等と充実を図るため、老朽化している消防車両等を計画的に更新します。



【写真：消防団に配備される小型動力ポンプ積載車】

3,290

まちを明るくし、防犯対策(犯罪抑止)を図るため、通学路及びたまり場に防犯灯を設置します。また、地域で設置する防犯灯について交付金を助成します。

10,134

安全安心まちづくり基本計画に基づき、関係機関が連携してそれぞれの役割を果たし、市民が安全で安心して暮らせるための対応を図ります。(生活安全専門員の配置を新規に実施)

IC

7,000

スマートインターの設置に向け、地域住民、市議会商工団体などが一体となり検討を行います。

485

20,000

中津川駅北側を抜け、玉蔵橋と北野交差点の間地点に通じる道路(市道松源寺～大西線)は、周辺企業の進入路として、また中津川駅を利用する際の通勤、通学道路として重要な道路です。

しかし、現道は幅員が狭いうえ大型車輛の通行量が多く、騒音、振動、通行の危険等地域の生活環境に悪影響を及ぼしています。

この状況を解消するため、国の有利な補助制度である「まちづくり交付金」を活用して、大型車輛の迂回ルートとなる市道485号線の改良を行います。

10,000

市道「松源寺～大平線」は市民病院への搬送路となる重要な路線ですが、未改良部分が多く幅員も狭いうえ、JR跨線橋である松源寺橋は車輛がすれ違えないことから、通勤時間帯には国道257号交差点付近で交通渋滞を引き起こしています。こうした状態を解消し、スムーズな車輛の通行を確保するため、今年度は、基本設計に基づく詳細設計を行います。

50,000

市民の安全で便利な生活の確保を図るため、冬期における凍結防止とスムーズな緊急車両の進入が行えるよう道路改良を行います。有利な財源である辺地対策事業債を活用します。

橋りょう工 L=30m、W=5.0m

42,610

当該路線は、裏木曾県立自然公園乙女溪谷へ至る路線で、観光シーズンには多数の観光客が通行しています。しかし、一部区間が未改良であり地形も悪いため崩落や落石による事故が心配されます。このため当該箇所を改良し、通行者の利便性の向上と安全の確保を図ります。有利な財源である辺地対策事業債を活用します。

道路工 L=82m、W=4.0(5.0)m

3,000

当該路線は、主要地方道恵那蛭川東白川線と結び主要な幹線道路です。蛭川総合事務所前から蛭子座(公民館)までの間が未改良区間で直角に曲がっており幅員も狭いため、すれ違いができなく緊急車両の通行に支障をきたしています。このため当該箇所を改良し、通行者の利便性の向上と安全の確保を図ります。

測量設計 L=171m、W=8.0(うち歩道部分 2.5)m

2,000

当該箇所は、中核工業団地へ通勤する車による朝夕の渋滞が著しく、通行に支障をきたしています。そこで、問題緩和が可能な方法を見出すため、調査研究を行ないます。



15,280

市民生活に密着した生活道路の維持補修などの市民要望に速やかに対応するため、予算枠を拡大します。

53,750

山口地区と馬籠地区を結ぶ農産物輸送の幹線農道であり、また、国道19号の代替ルート、飛騨・木曾とを結ぶ広域観光ルートとして平成5年度から事業を進めており、早期の全線開通に向け事業の進捗を図ります。有利な財源である過疎対策事業債を活用します。

道路工 L=471m、橋りょう工 L=23m

24,099

国道19号から椈の湖、福岡方面への幹線農道として昭和63年度から事業を進めており、平成20年度に完了します。有利な財源である合併特例債を活用します。

923,625

情報通信格差の解消や市民生活の利便性向上を図るため、光ファイバーによる良好な情報通信基盤を構築します。

平成20年度整備地区は、福岡地区、加子母地区を予定しています。

UI

111,866

高齢化・過疎化の著しい中山間地域の活性化を促進するため、若年層のUIターン者を受け入れるための市営住宅を建設します。

- ・ 神坂地区 住宅建設 木造2階建て長屋住宅6戸
- ・ 阿木地区 宅地造成設計 ・加子母地区 住宅適地調査

2,050

飲料水の衛生確保並びに生活環境の向上のため、水道未普及地域において、地元の協力を得ながら水道施設整備を行い、平成23年度～平成24年度の給水開始を目指して整備を進めます。



252,898

奨励金の交付による地元企業の増設、移設の支援、新たな企業の立地の促進を行います。また、誘致フェア等市外、県外企業への積極的な誘致活動を実施します。



【写真:中津川中核工業団地】

2,308

「産」(民間企業)と「学」(大学等)が共同して、新製品の研究・開発を行うための専門コーディネーターによる相談やマッチングの支援を、「官」である市役所が行います。

21,183

モノづくり人材紹介事業や、無料職業相談所による就業者と企業の橋渡しの事業、学生の企業見学等による地元企業のPR等を実施します。

15,569



【写真:東濃ヒノキの産直住宅】

「東濃ひのきの産直住宅」のブランド力・信頼性・営業力等を強化して受注の確保を図るため、産直住宅組合の活動に対して補助金などの支援を行います。

2,666

名古屋城本丸御殿復元事業の支援を通し、木材等の供給、技術の伝承、市内産業の振興を図ります。

1,256

伐採することなく立木のまま乾燥させる実証実験を支援します。

立木乾燥の効果が実証できれば、人工乾燥に対してCO2 削減や、木質の優位性など、今以上のブランド力強化が期待されます。

170,323

合板工場の立地により、山林に放置されている切捨て間伐された木材やB・C級材等に価値を与えることにより利益に繋がります。また、今まで価値の無かった未利用材が活用されるため、山林の整備や林業振興に繋がることが期待されます。

1,990

「石彫のつどい」のイベント実施により、「石のことなら蛭川」ということを広く全国にPRし、石材業の発展につなげます。

出店作品は、イベント後の景観形成に寄与しています。



【写真】石彫のつどい制作作品

3,539

フレッシュ直行便や販路拡大支援、おはよう朝市実施等により、中津川市の農産物PRと地産地消の推進を図ります。



【写真】イベントでの地場産品の物産販売

社会貢献を目的として、森林整備活動を実施する企業が増加しています。こうした企業と連携を図り、森林の様々な役割りの維持と産業振興に繋がります。

1,148

名古屋市内へチャレンジショップを出展し、観光案内や特産品の紹介、観光客のニーズの把握を行います。

3,243

家庭生ごみの堆肥化を将来の実用化に向けて、モデル事業を継続し、より有効な方法・効果等を再検証します。

23,630

資源となる紙類、ビン類、缶類などを回収した団体に対して奨励金を交付し、資源のリサイクルを図ります。

7,927

各地域のリサイクルボックスを活用して、資源となるごみの回収、資源化をすすめています。地域からの要望に応え、地元管理のリサイクルボックスの設置箇所を増やします。



【写真:リサイクルボックス(山口地区)】

99,640

公共水域の水質改善並びに生活環境の向上を図るため、公共下水道が未整備の坂本地区について計画的に整備をすすめ、平成 22 年度末一部供用開始を目指します。

292,212

阿木地区・農業集落排水施設の管路布設工事の平成 20 年度完了を目指します。

200

環境に優しいライフスタイルの実現を目指し、環境基本計画に従って、市民・事業者・市の各主体が協力・連携を図りながら、環境負荷の少ない取り組みを推進します。

省資源、省エネルギーを目指したライフスタイルの変革を「全市環境 ISO 運動」として展開します。

7,602

中山道の宿場町であった馬籠、落合、本町の重点地区において、「住民が取り組む建築物、工作物等の修景、緑化活動等」に対して助成を行います(まちなみ景観形成事業補助金)。

財源として、「美しいまちづくり景観整備基金」と有利な財源である「まちづくり交付金」を活用します。



【写真:落合本陣】

5

2,354

地歌舞伎、文楽などの地域における伝統文化の継承と後継者育成のために、地域伝統芸能文化団体に対して支援を行います。

350

文豪島崎藤村の業績などを紹介する藤村記念館の活動を支援し、文芸創作活動の振興を図るとともに、郷土の文化人が息づく、芸術・文化の輝くまちづくりをすすめます。

島崎藤村記念文芸祭の開催  
「島崎藤村学会」の開催支援

226,583

蛭子座(蛭川公民館)の耐震を含めた大規模改修を行い、中津川市の歌舞伎小屋4座のひとつとして、市全体の伝統芸能(地歌舞伎)の振興と継承のための拠点施設として、また、地域住民の交流や、生涯学習活動のための地域公民館として活用を図ります。  
(平成21年2月完成予定)



770

長野県、岐阜県、南木曾町と共同歩調をとり、世界遺産の登録に向け、エリア内の資産価値を高めるため、馬籠地区などの歴史遺産の調査を行い、国の文化財指定申請に取り組みます。

1,400

中山道・東山道などの歴史街道を中心としたウォーキングの道づくりを行い、観光振興の起爆剤として交流人口の拡大を図ります。

6

12,318

通常の学級にいるADHD(注意欠陥・多動性障害)など、支援が必要な子どもへの対応を積極的に推進するために、特別支援助手を配置します。

72,664

子どもたちの安全を確保し、安心・快適・健康的な教育環境をつくるため、計画的に耐震・改修整備を行います。

阿木小学校屋内運動場の大規模改修補強工事を行います。

次年度の整備に備え、苗木小学校屋内運動場・第一中学校校舎・蛭川中学校校舎の調査設計を行います。

2,198

子どもが、幼児期に「絵本」に親しみながら、自然や命の大切さ、モラル、社会性などを身につけていくために、親が絵本の読み聞かせを家庭でも実践できるよう、保護者を対象に絵本の選定や読み聞かせ方についての研修会を各地域で開催します。

5,200

坂下総合体育館と坂下中学校とを結ぶ連絡通路への外部からの侵入を防ぎ、生徒が安全安心に利用できるようにするため、安全対策工事を行います。



226,583

蛭子座(蛭川公民館)の耐震を含めた大規模改修を行い、市全体の伝統芸能(地歌舞伎)の振興と継承のための拠点施設として、また、地域住民の交流や、生涯学習活動のための地域公民館として活用を図ります。(平成 21 年 2 月完成予定)

280

子育てに関心のある人等が、子育てに関する知識、技術等を身につけ、若い親に対する子育て支援を通して、地域で活躍する機会を作るための「子育てサポーター養成講座」を開講します。

375

市民の多様な学習要求に応え、また市民が地域のなかで活躍する機会、出番づくりのために、優れた人材に講師として登録していただき、登録者が講師として活躍できるよう、各種講座を開講します。

300

安全・安心まちづくり推進市民会議と行政、教育機関が連携し、いじめの予防対策、早期発見、早期対応に取り組みます。

7

13,629

広報紙、ホームページ、電子メール、ファクスなどの様々なメディアによる広報活動を充実するとともに、高齢者や障害を持った方にも配慮した情報のバリアフリー化を進めます。

483

市の公式ホームページを、誰もが簡単に分かりやすく、また使いやすいページづくりに務めます。

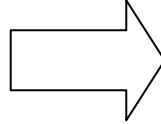
全ての小学校区にて市政懇談会を継続的に開催し、地域の声を市政に反映します。

1,109

合併に伴う旧町村住民の不安や懸念の解消と、合併後の一体感の醸成のため、地域審議会を設置して住民の声を施策に反映する活動を推進します。

8,000

市内には道路の幅員が狭く効率的な消防活動、急患の速やかな搬送に支障をきたしている道路が多くあります。こうした生活道路について、路線の改良整備を計画段階から住民参加型の事業として地域の皆さんの協力を得て進めるとともに、材料等を支給し地元施工による整備を推進します。



4,571

コミュニティセンター候補地である「字岡田」に用地を確保し、施設の具体的な調査設計を行います。

27,050

集会所やクラブ等の地域集会施設の整備に対して計画的に補助を行い、地域コミュニティの形成を図るとともに、災害時の対応機能や地域の福祉・教育活動などの機能整備を促進します。

**8**



1,347

「市民による行政評価委員会」により、市が実施する事業についての評価を実施します。平成20年度以降は、内部による行政評価も充実し、一層の事務事業の評価を実施します。

「職員による行政改革推進委員会」も充実させ、全庁的な体制の下に行政改革を推進します。

1,303

監査と進捗管理が連携し監査機能の強化に努め、執行管理の監査だけでなく施策目標に対する進捗状況を監査します。

市長公約、主要な施策・事業、市民要望、「市長へ直行便」などに係る実行確約事項の進捗管理を行います。

職員定員管理計画に従って、新市建設計画の医療機関を除いた職員数850人体制を平成22年度末までに実現します。

1,347

「市民による行政評価委員会」により、市が実施する事業についての評価を実施します。平成20年度以降は、内部による行政評価も充実し、一層の事務事業の評価を実施します。

「職員による行政改革推進委員会」も充実させ、全庁的な体制の下に行政改革を推進します。

それぞれの職場に関することは、自ら改善をすすめる「一課一改善活動」を推進します。

1,600

職員の意識改革と能力開発及び人材育成を図るため、人事評価者研修を行い、職員力とチーム力をアップし、市民が主役の行政をすすめます。

全ての小学校区にて女性懇談会を継続的に開催し、女性の声を市政に反映させます。

9 ( )

0			16,500
0			3,000
0			111,866
0			58,500
0			12,000
0			5,195
0			2,600
0			3,565
0			32,262
0			3,290
0			13,600
0			72,664
0			2,050
0		IC	7,000
0		485	20,000
0			10,000
0	19		101,100
0			178,000
0			50,000
0			42,610
0			3,000
0			2,000
0			215,458
0			53,750
0			24,099
0			8,000
0			20,900
0			182,271
0			26,150
0			15,280
0			923,625

0	252,898
0	170,323
0	3,250
0	14,625
0	81,250
0	28,875
0	96,819
0	49,809
0	12,579
0	50,000
0	7,000
0	39,000
0	
0	7,602
0	188,716
0	7,927
0	99,640
0	292,212
0	
0	226,583
0	
0	72,664
0	5,200
0	
0	4,571
0	27,050

10

( )

3

0			252,898
0			5,000
0			35,728
0			114,285
0			15,310
0			21,183
0			2,308
0			4,500
0			16,023
0		( )	23,492
0			28,500
0			500
0			275
0			1,334
0			88,299
0			319,672
0			12,579
0			23,885
0			2,666
0			2,225
0			1,508
0			4,680
0			635
0	IC		7,000
0			7,602
0			923,625
0			111,866
0			7,051
0			1,000
0			12,600
0			35,771
0			666,042
0			225,657
0			4,197
0			25,871
0			36,903
0			280
0			50
0			920
0			5,080
0			6,500
0			23,258

0			2,354
0			25,871
0			36,903
0			920
0			3,044
0	1	1	2,295
0			412
0			5,700
0			1,151
0			45
0			4,571
0			27,050
0			375
0			4,600
0			2,354
0			8,000
0			280
0			2,198

0			5,588
0			238
0			53
0			3,290
0			405
0			4,204
0			289
0			2,600
0	100		
0			72,664
0			1,000
0			12,600
0			1,000
0			20,000
0			5,000
0			5,195
0			3,414
0			32,262

0		11,749
0		38,065
0		3,000
0	6	2,209
0		1,286
0		300
0		10,615
0		2,570
0		19,617
0		5,000

0	ISO	200
0		3,243
0		23,630
0		1,420
0		7,927
0		2,467
0		1,515
0		2,676
0		435
0		6,416
0		928
0	ISO14001	839
0		70

11 ( )

0	
0	
0	
0	
0	
0	
0	
0	
0	
0	
0	485
0	
0	190
0	
0	89
0	227
0	109
0	400
0	
0	
0	2
0	
0	

0	
0	
0	
0	203
0	161
0	153
0	175
0	
0	213
0	126
0	266
0	204
0	198
0	
0	
0	
0	
0	
0	

0	
0	
0	
0	
0	
0	
0	
0	1
0	
0	
0	

0	
0	
0	
0	
0	
0	UI
0	224
0	3
0	
0	
0	

0	
0	
0	
0	
0	
0	40

0	
0	UI
0	2
0	
0	
0	
0	







1

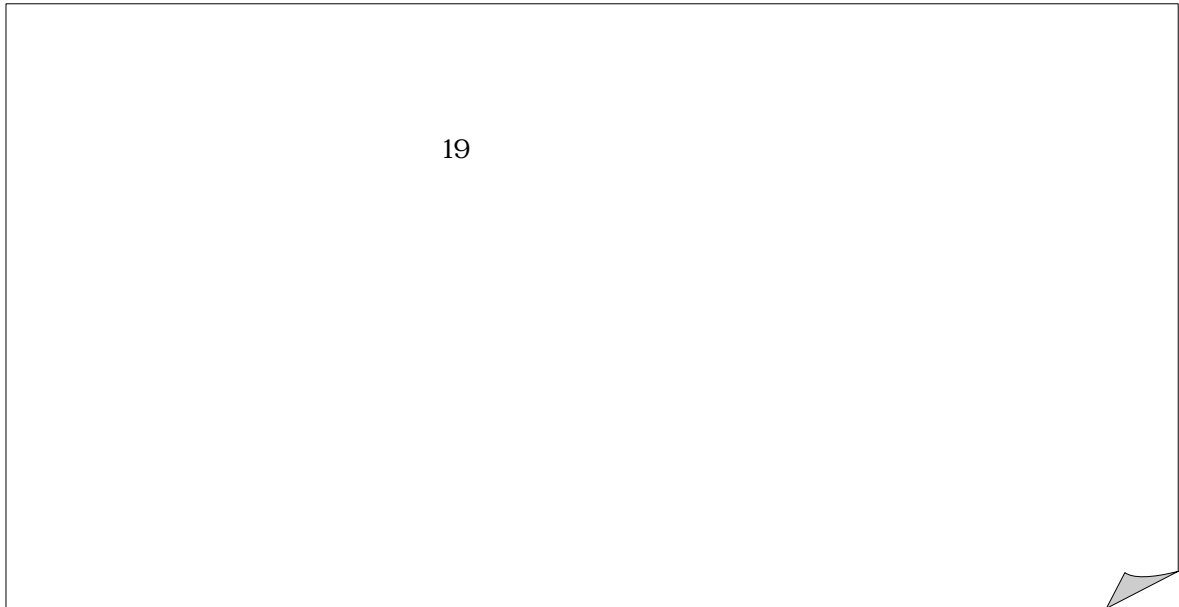
- 8

- 

- 

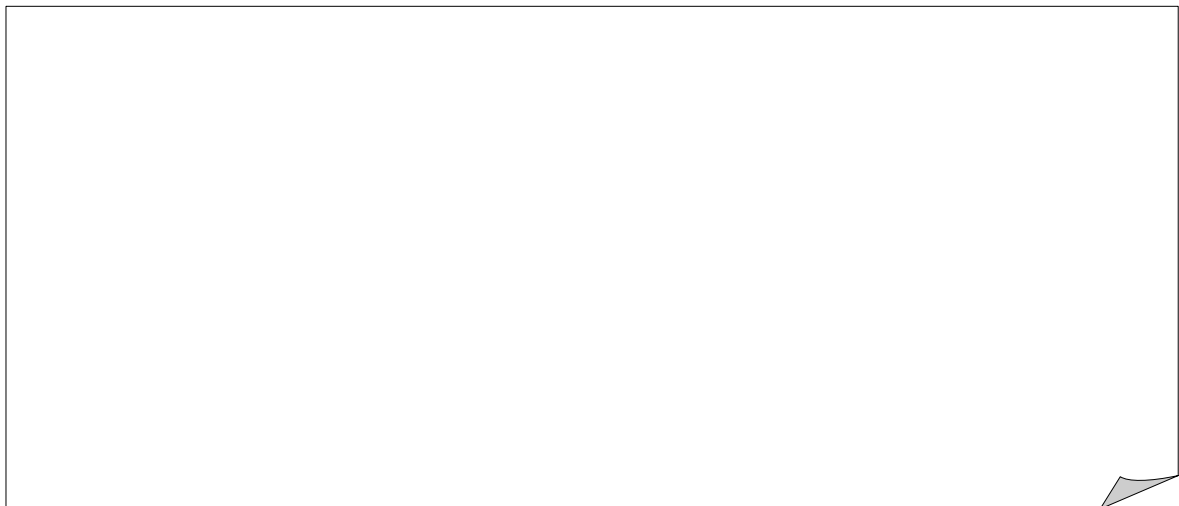
44 45

0

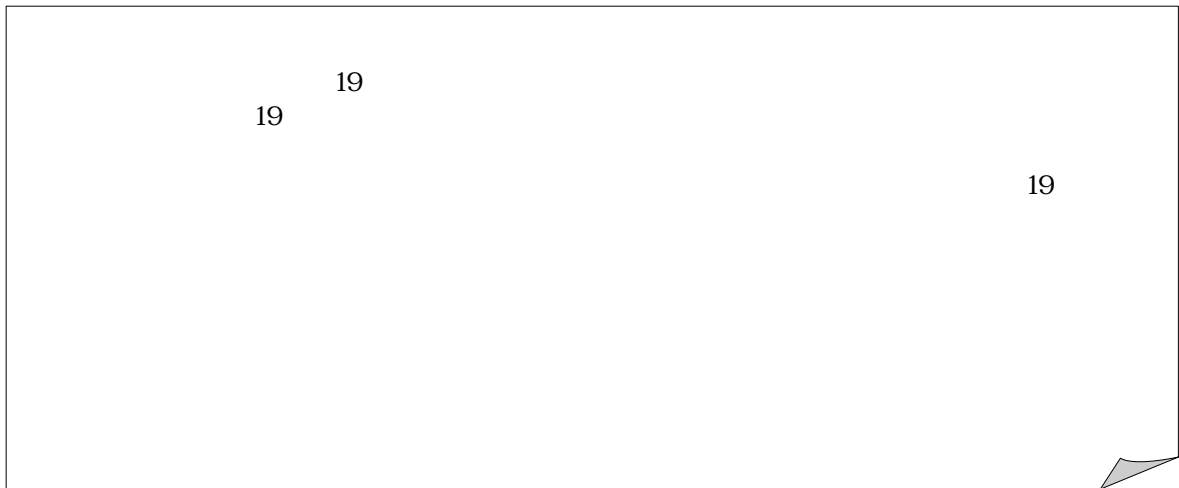


19

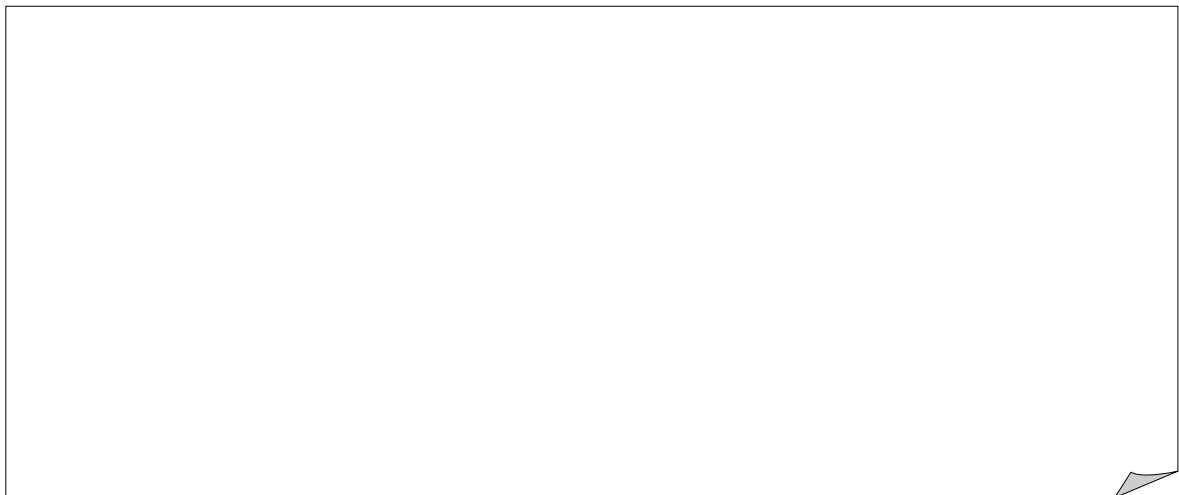
0



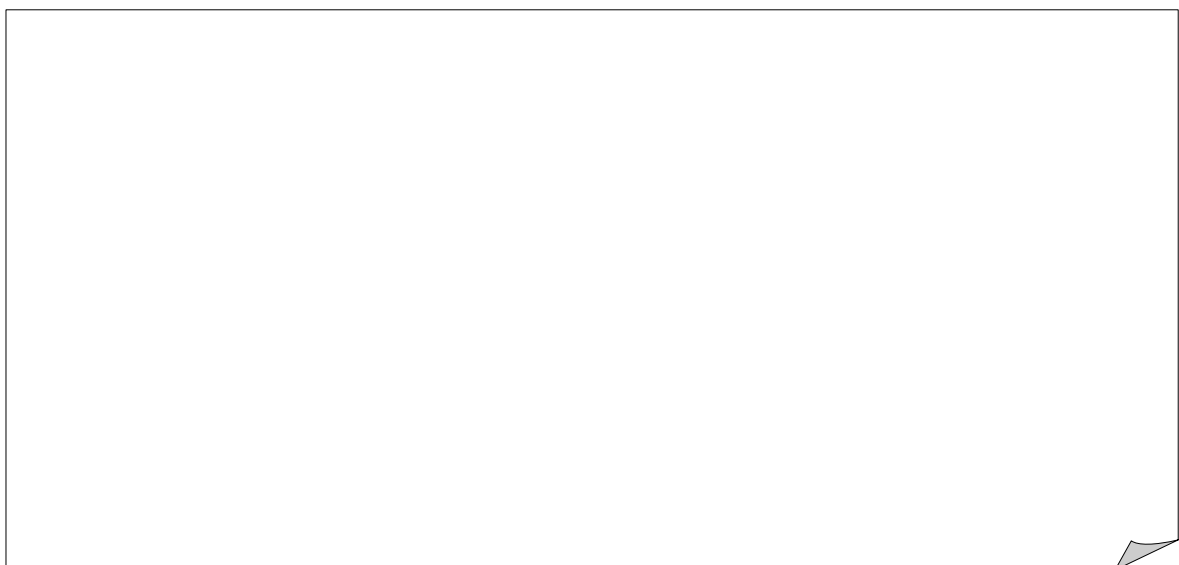
0



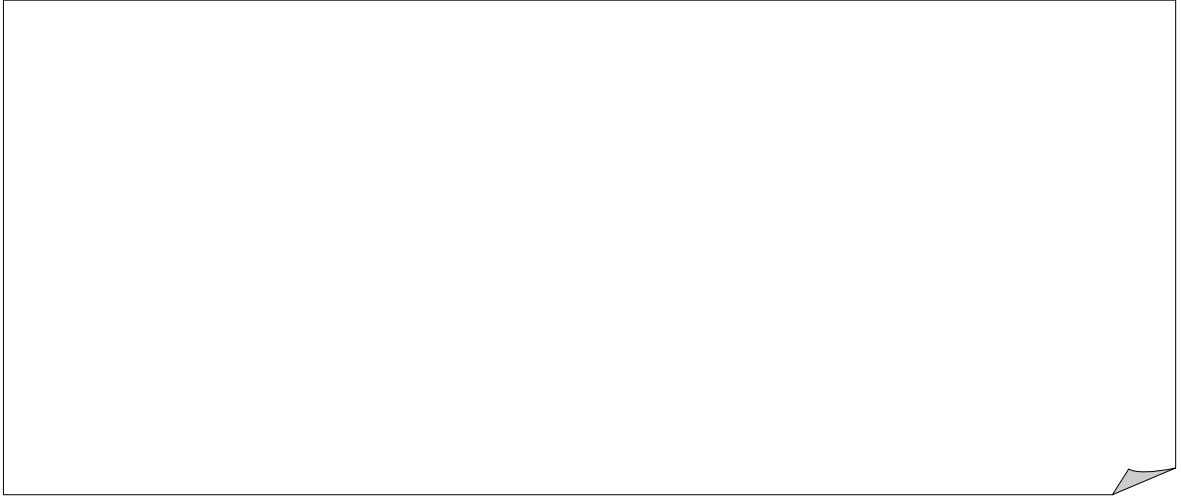
0



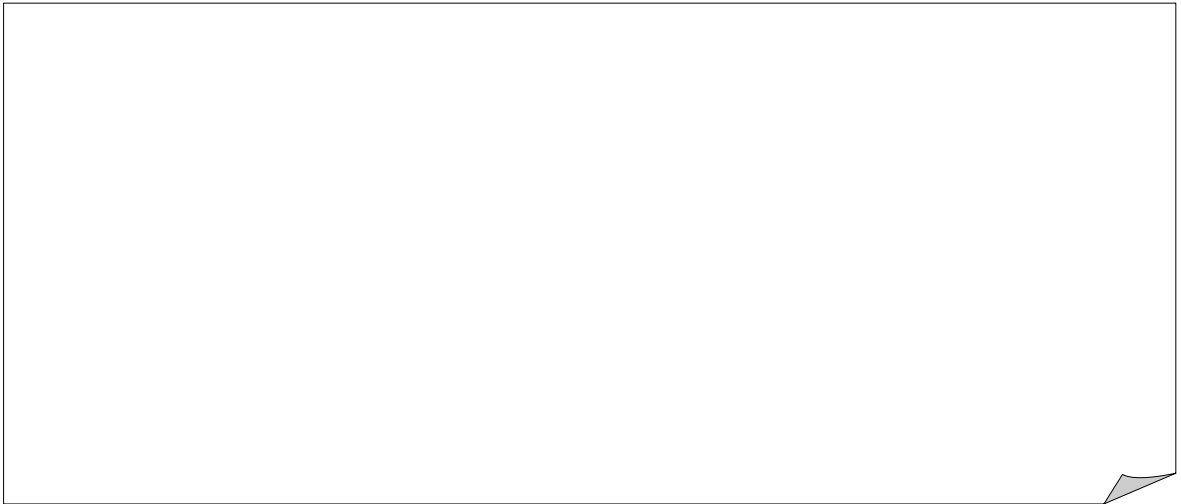
0



0



0



0

	( )
19	
800	

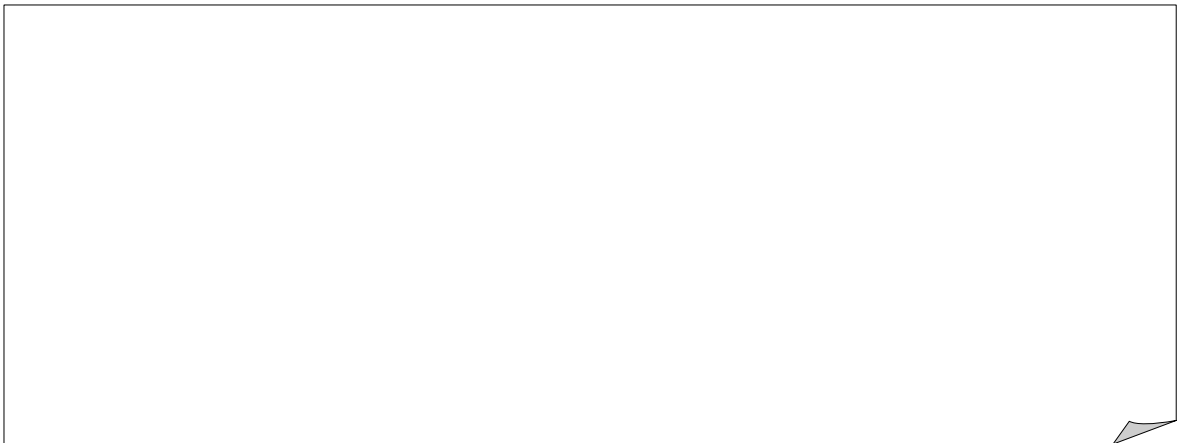
0



0



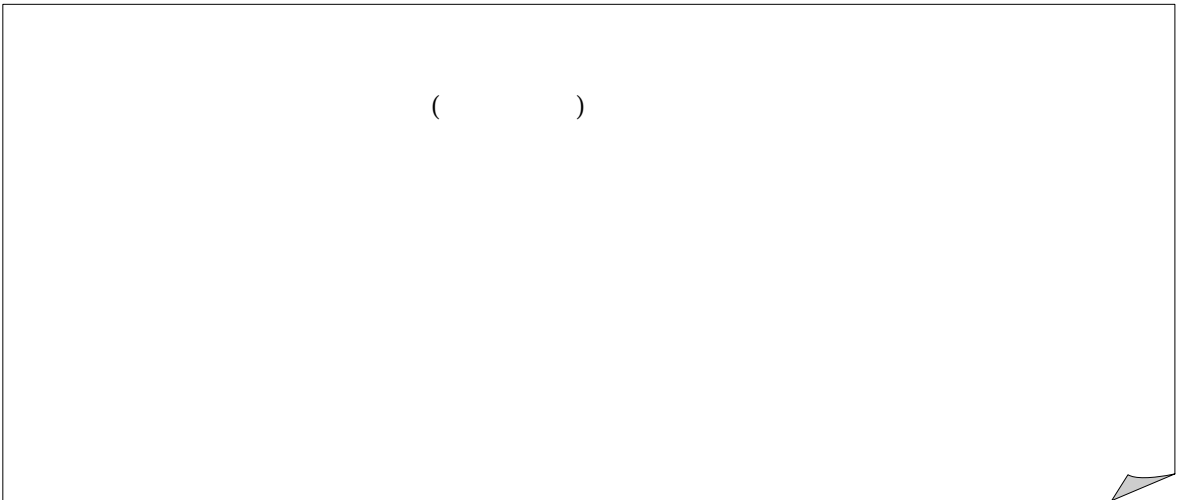
0



0



0



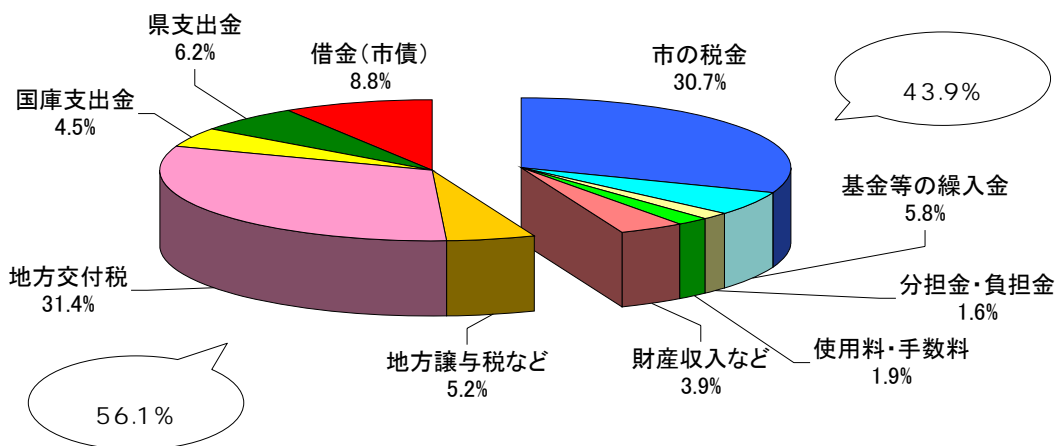
(単位:千円, %)

会 計 区 分	平成20年度		平成19年度		比 較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
一 般 会 計	34,543,000	48.7	35,699,000	46.2	△1,156,000	△3.2
特 別 会 計	21,548,250	30.4	27,627,082	35.8	△6,078,832	△22.0
国民健康保険事業会計	7,600,439	10.7	8,044,982	10.4	△444,543	△5.5
事 業 勘 定	7,330,185	10.3	7,790,565	10.1	△460,380	△5.9
直営診療施設勘定	270,254	0.4	254,417	0.3	15,837	6.2
交通災害共済事業会計	23,163	0.0	23,710	0.0	△547	△2.3
駅前駐車場事業会計	14,420	0.0	14,767	0.0	△347	△2.3
下水道事業会計	3,053,873	4.3	2,528,923	3.3	524,950	20.8
老人保健事業会計	823,485	1.2	8,115,017	10.5	△7,291,532	△89.9
簡易水道事業会計	856,262	1.2	754,859	1.0	101,403	13.4
農業集落排水事業会計	976,027	1.4	894,332	1.2	81,695	9.1
特定環境保全 公共下水道事業会計	1,834,886	2.6	1,994,361	2.6	△159,475	△8.0
介護保険事業会計	5,475,088	7.7	5,245,388	6.8	229,700	4.4
個別排水処理事業会計	11,617	0.0	10,743	0.0	874	8.1
後期高齢者医療事業会計	878,990	1.3			878,990	皆増
企 業 会 計	14,850,433	20.9	13,888,561	18.0	961,872	6.9
水道事業会計	1,997,035	2.8	1,761,497	2.3	235,538	13.4
病院事業会計	12,853,398	18.1	12,127,064	15.7	726,334	6.0
計	70,941,683	100.0	77,214,643	100.0	△6,272,960	△8.1

(単位:千円, %)

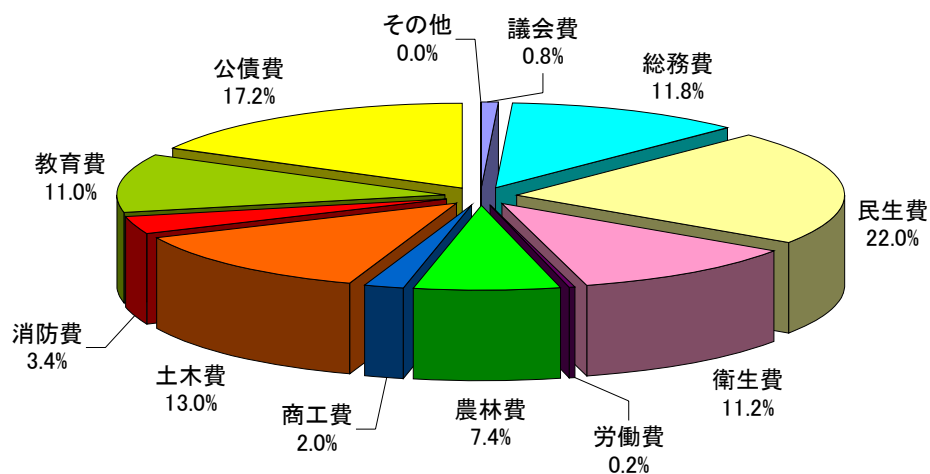
款	平成20年度		平成19年度		比較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
1 市 税	10,611,013	30.7	10,405,600	29.1	205,413	2.0
2 地 方 譲 与 税	459,000	1.3	462,000	1.3	△3,000	△0.6
3 利 子 割 交 付 金	40,000	0.1	23,000	0.1	17,000	73.9
4 配 当 割 交 付 金	29,000	0.1	24,000	0.1	5,000	20.8
5 株式等譲渡所得割交付金	23,000	0.1	40,000	0.1	△17,000	△42.5
6 地方消費税交付金	757,000	2.2	770,000	2.2	△13,000	△1.7
7 ゴルフ場利用税交付金	38,000	0.1	41,000	0.1	△3,000	△7.3
8 自動車取得税交付金	308,000	0.9	317,000	0.9	△9,000	△2.8
9 地方特例交付金	116,000	0.4	86,000	0.2	30,000	34.9
10 地 方 交 付 税	10,850,000	31.4	10,700,000	30.0	150,000	1.4
11 交通安全対策特別交付金	10,600	0.0	17,002	0.0	△6,402	△37.7
12 分担金及び負担金	566,129	1.6	595,110	1.7	△28,981	△4.9
13 使用料及び手数料	668,110	1.9	675,893	1.9	△7,783	△1.2
14 国 庫 支 出 金	1,571,296	4.5	2,080,718	5.8	△509,422	△24.5
15 県 支 出 金	2,132,632	6.2	2,272,038	6.4	△139,406	△6.1
16 財 産 収 入	148,265	0.4	130,838	0.4	17,427	13.3
17 寄 附 金	1,001	0.0	5,500	0.0	△4,499	△81.8
18 繰 入 金	2,005,509	5.8	2,336,374	6.5	△330,865	△14.2
19 繰 越 金	300,000	0.9	300,000	0.8	0	0.0
20 諸 収 入	878,645	2.6	891,527	2.5	△12,882	△1.4
21 市 債	3,029,800	8.8	3,525,400	9.9	△495,600	△14.1
	(1,762,000)	(5.1)	(2,111,000)	(5.9)	(△349,000)	(△16.5)
歳 入 合 計	34,543,000	100.0	35,699,000	100.0	△1,156,000	△3.2

※市債欄の( )書きは、合併特例債、過疎対策事業債、辺地対策事業債の合計額で、償還時に地方交付税による財源補てんがあるもの。



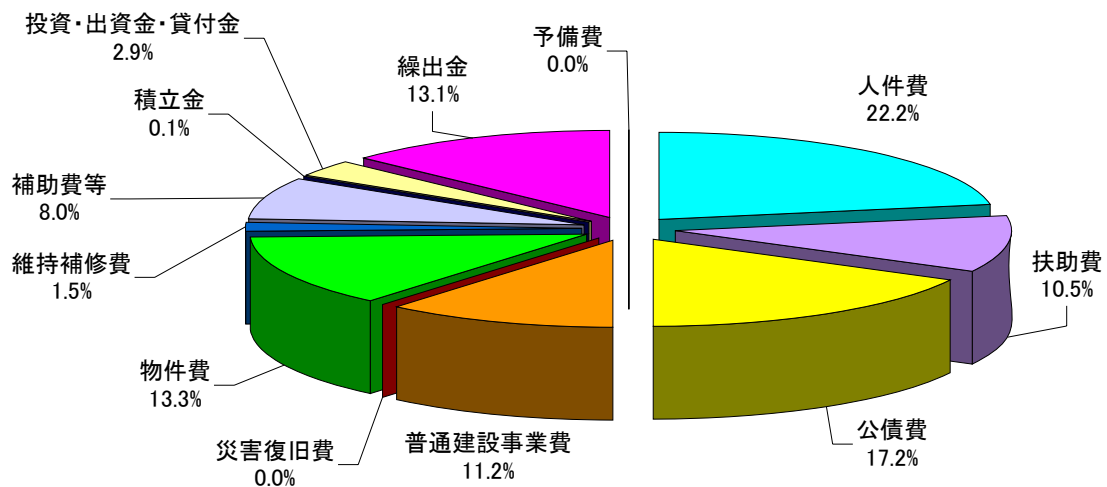
(単位:千円, %)

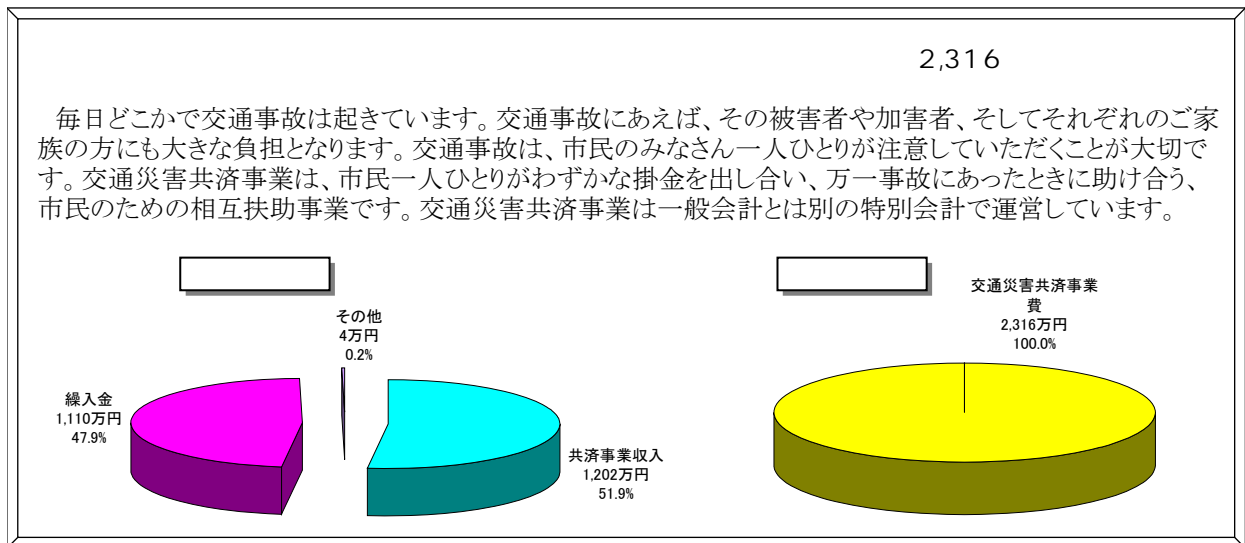
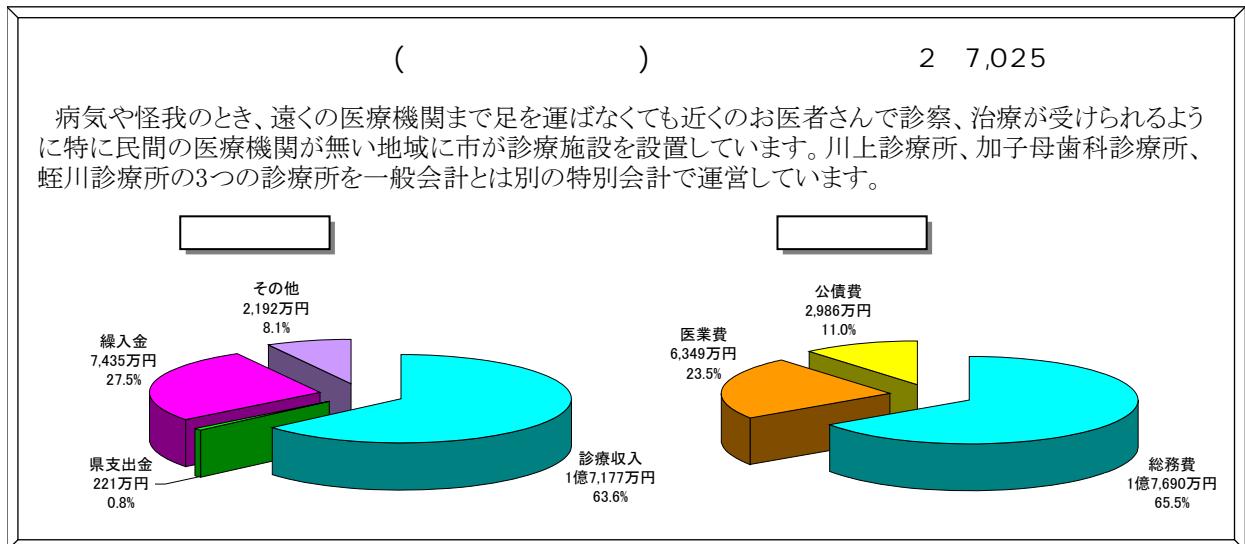
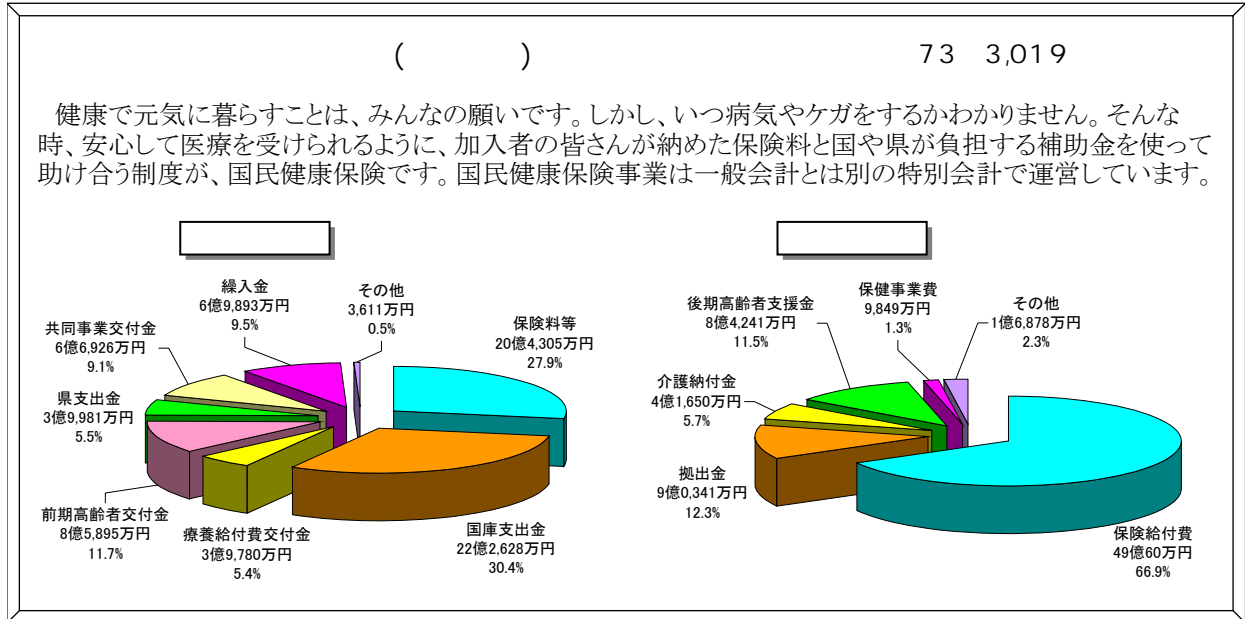
款	平成20年度		平成19年度		比較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
1 議 会 費	290,542	0.8	299,094	0.8	△8,552	△2.9
2 総 務 費	4,065,145	11.8	4,214,383	11.8	△149,238	△3.5
3 民 生 費	7,585,315	22.0	7,906,939	22.1	△321,624	△4.1
4 衛 生 費	3,863,898	11.2	3,395,931	9.5	467,967	13.8
5 労 働 費	79,725	0.2	87,563	0.3	△7,838	△9.0
6 農 林 費	2,542,725	7.4	2,484,631	7.0	58,094	2.3
7 商 工 費	702,526	2.0	706,179	2.0	△3,653	△0.5
8 土 木 費	4,494,781	13.0	5,278,805	14.8	△784,024	△14.9
9 消 防 費	1,172,586	3.4	1,210,747	3.4	△38,161	△3.2
10 教 育 費	3,795,555	11.0	3,917,981	11.0	△122,426	△3.1
11 災 害 復 旧 費						
12 公 債 費	5,945,202	17.2	6,191,747	17.3	△246,545	△4.0
13 諸 支 出 金						
14 予 備 費	5,000	0.0	5,000	0.0	0	0.0
歳 出 合 計	34,543,000	100.0	35,699,000	100.0	△1,156,000	△3.2

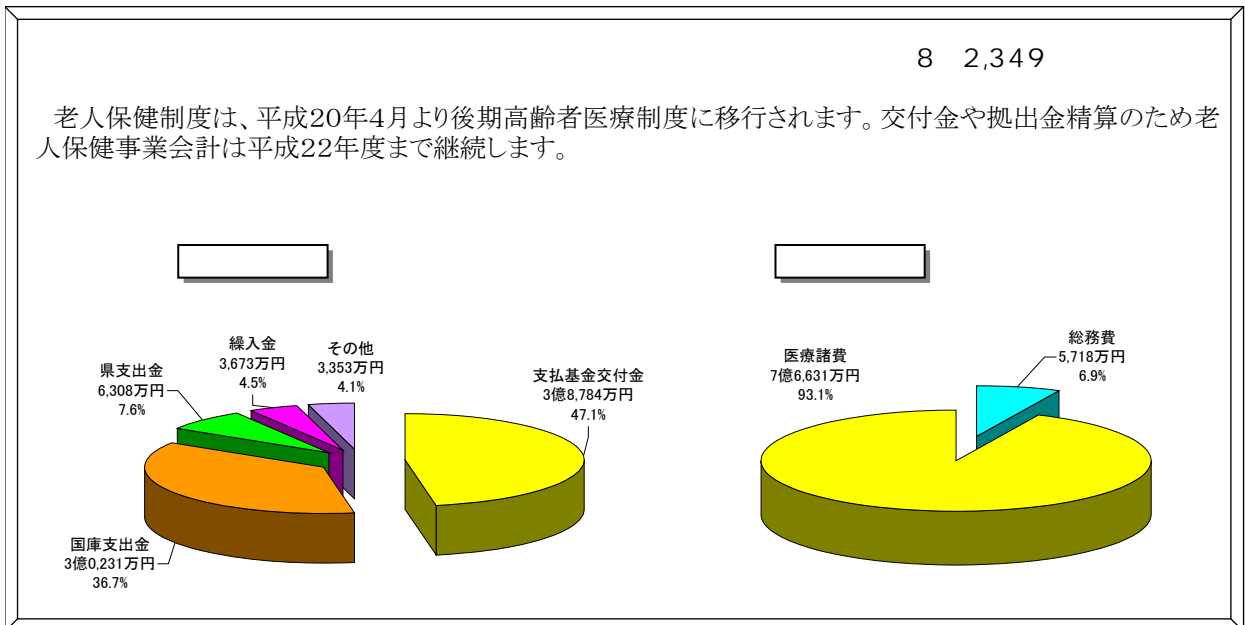
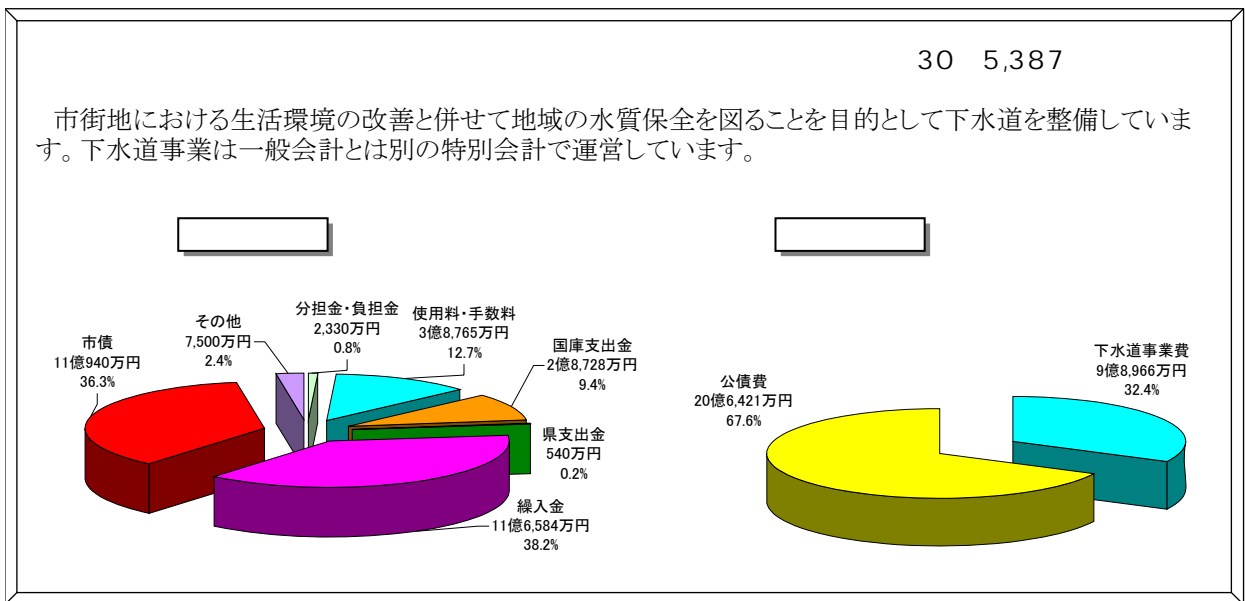
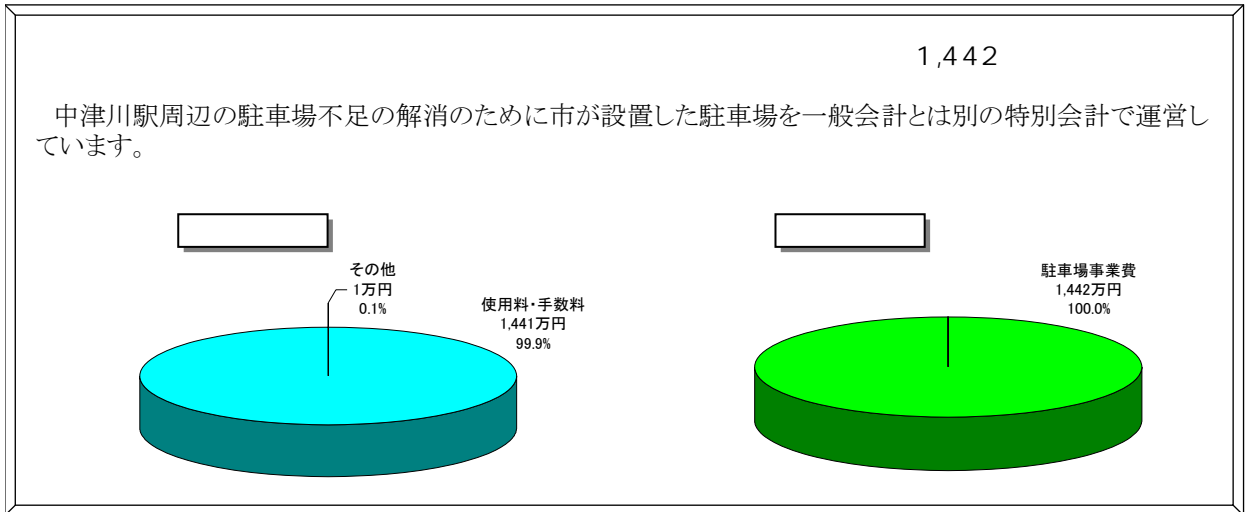


(単位:千円, %)

区 分		平成20年度		平成19年度		比 較	
		予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
義務的経費	人 件 費	7,680,545	22.2	8,225,119	23.0	△544,574	△6.6
	扶 助 費	3,623,756	10.5	3,517,626	9.9	106,130	3.0
	公 債 費	5,945,202	17.2	6,191,747	17.3	△246,545	△4.0
	小 計	17,249,503	49.9	17,934,492	50.2	△684,989	△3.8
投資的経費	普 通 建 設 事 業 費	3,876,856	11.2	5,135,592	14.4	△1,258,736	△24.5
	補 助	1,492,183	4.3	2,270,659	6.4	△778,476	△34.3
	単 独	2,384,673	6.9	2,864,933	8.0	△480,260	△16.8
	災 害 復 旧 費	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	小 計	3,876,856	11.2	5,135,592	14.4	△1,258,736	△24.5
その他	物 件 費	4,585,720	13.3	4,750,781	13.3	△165,061	△3.5
	維 持 補 修 費	535,301	1.5	503,103	1.4	32,198	6.4
	補 助 費 等	2,747,566	8.0	1,661,801	4.7	1,085,765	65.3
	積 立 金	27,519	0.1	2,325	0.0	25,194	1,083.6
	投 資 及 び 出 資 金 貸 付 金	1,007,777	2.9	788,773	2.2	219,004	27.8
	繰 出 金	4,507,758	13.1	4,917,133	13.8	△409,375	△8.3
	予 備 費	5,000	0.0	5,000	0.0	0	0.0
	小 計	13,416,641	38.9	12,628,916	35.4	787,725	6.2
歳 出 合 計		34,543,000	100.0	35,699,000	100.0	△1,156,000	△3.2

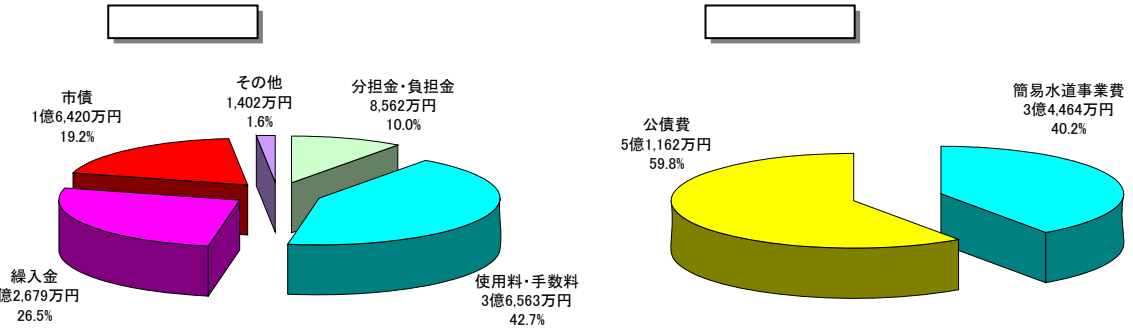






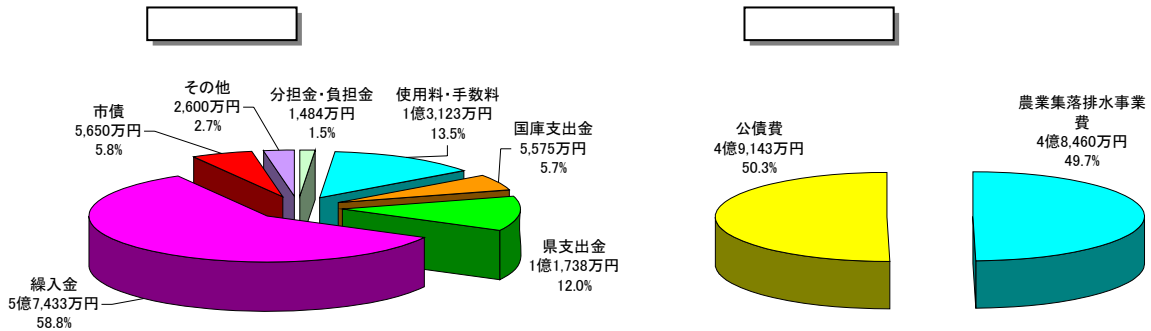
8 5,626

水道は、私たちの毎日の暮らしやさまざまな活動を支える大切な役割を果たしています。市では、市民の皆さんに清浄で豊富低廉な水道水を供給するため、関連施設の適正な維持管理を行っています。市の水道事業は、中津川市水道事業と中津川市簡易水道事業があり、一般会計とは別に、水道事業は企業会計、簡易水道事業は特別会計で経営しています。



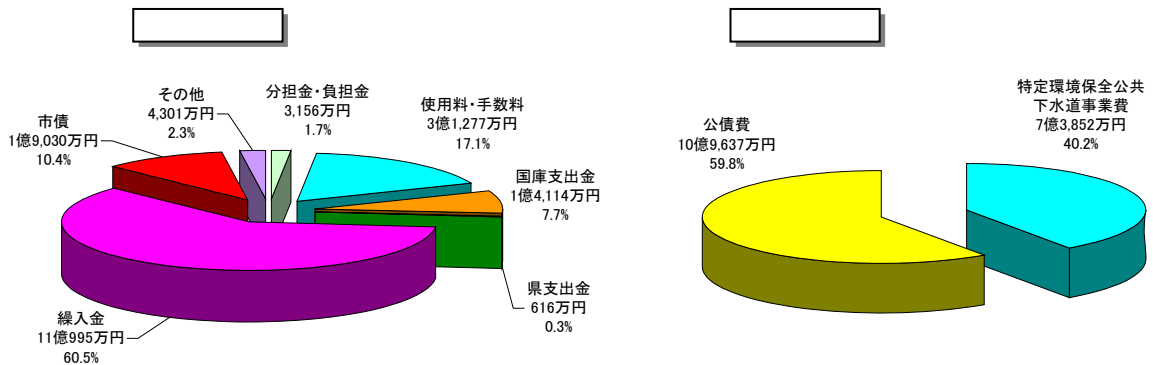
9 7,603

農業集落排水事業は、農業用排水の水質保全や農村の生活環境の改善と併せて、地域の水質保全を図ることを目的としています。農業集落排水事業は一般会計とは別の特別会計で運営しています。



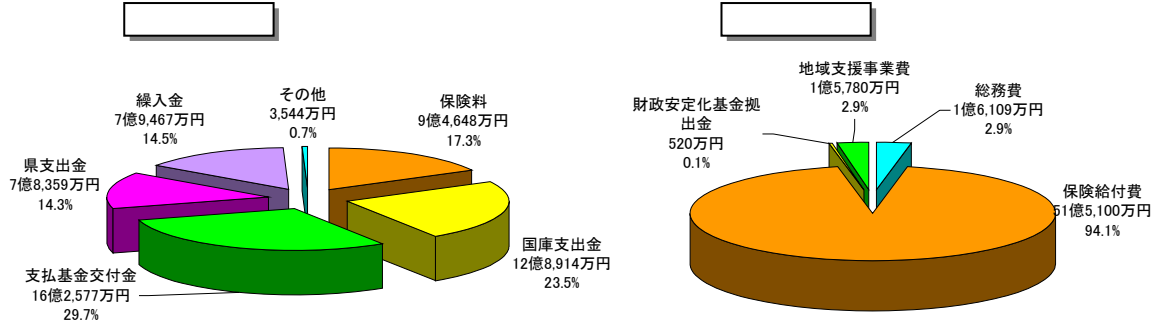
18 3,489

市街地における生活環境の改善と併せて地域の水質保全を図ることを目的として、下水道を整備しています。下水道事業は一般会計とは別の特別会計で運営しています。



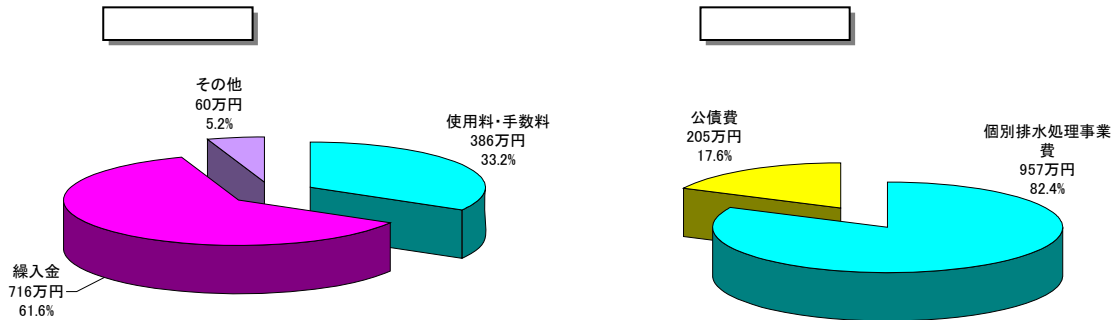
54 7,509

介護保険は、40歳以上の保険加入者が納める保険料と、国や都道府県、市町村が負担する公費（税金）を財源として、介護が必要となった被保険者に介護サービスを提供することや、予防が必要な人に介護状態にならないための介護予防事業を行い、被保険者と家族を支援する制度です。介護保険事業は一般会計とは別の特別会計で運営しています。



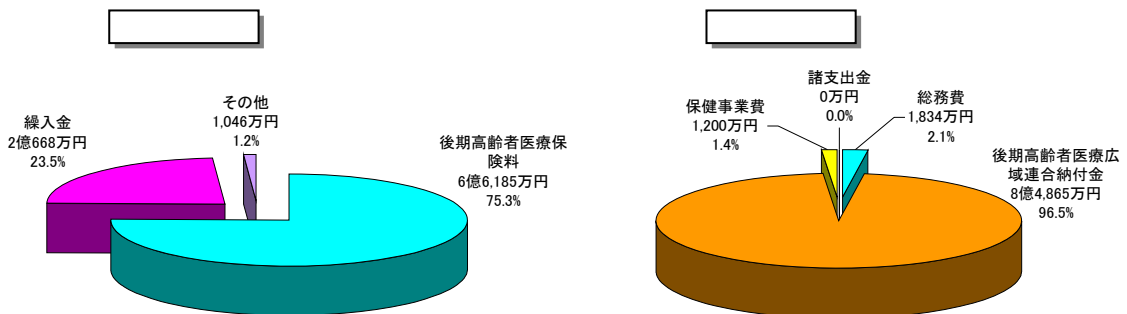
1,162

農業集落排水事業の整備時に、効率の悪い地域を一体的に水酸化するため、市が合併処理浄化槽を設置し、使用料を徴収して管理する事業です。個別排水処理事業会計は一般会計とは別の特別会計で運営しています。



8 7,899

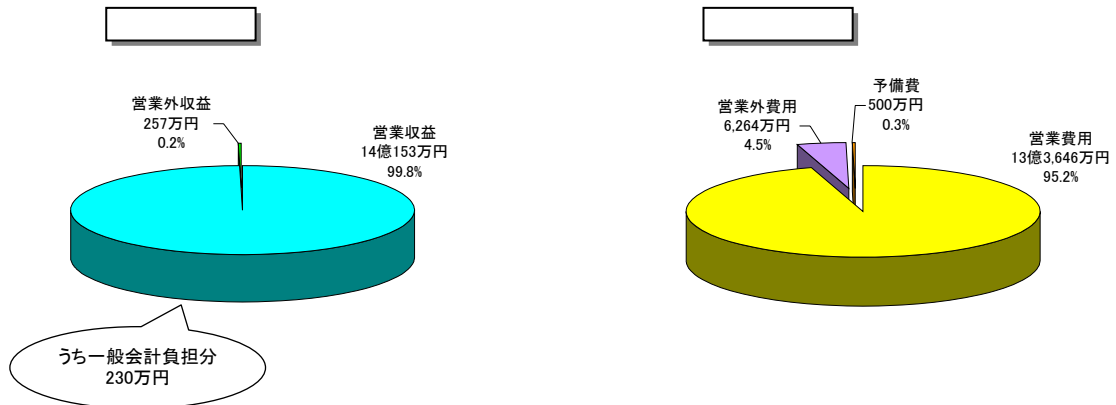
平成20年4月から老人保健制度に代わって、新たに「後期高齢者医療制度」が創設されます。平成20年4月からは、75歳（一定の障害がある人は65歳）になったら、新しい後期高齢者医療制度で医療を受けます。後期高齢者医療制度では、医療保険をぬけて後期高齢者医療制度に新たに加入することになります。後期高齢者医療事業は一般会計とは別の特別会計で運営します。



14 410

19 9,704

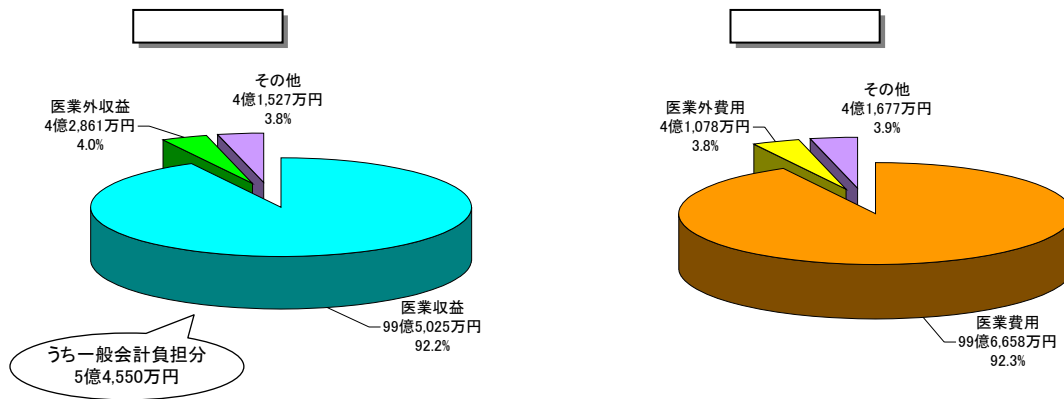
水道は、私たちの毎日の暮らしやさまざまな活動を支える大切な役割を果たしています。市では、市民の皆さんに清浄で豊富低廉な水道水を供給するため、関連施設の適正な維持管理を行っています。市の水道事業は、中津川市水道事業と中津川市簡易水道事業があり、一般会計とは別に、水道事業は企業会計、簡易水道事業は特別会計で運営しています。



107 9,413

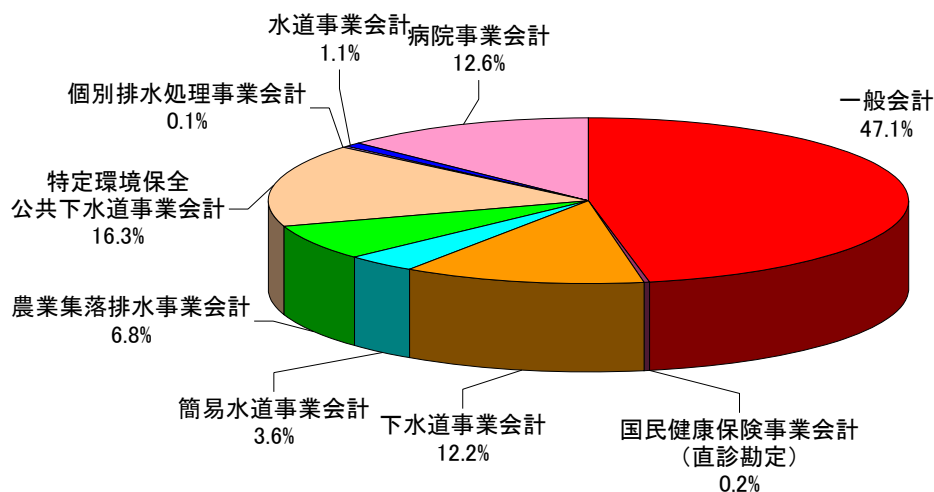
128 5,340

都市と同レベルの医療を市内で受けられるように市が設置している病院で、市民病院と坂下病院の2つの病院を一般会計とは別の企業会計で運営しています。



(単位:千円, %)

会 計 区 分	平成20年度末見込残高		平成19年度末見込残高		比 較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
一 般 会 計	46,643,613	47.1	48,715,655	47.4	△2,072,042	△4.3
特 別 会 計	38,856,777	39.2	40,496,827	39.5	△1,640,050	△4.0
国民健康保険事業会計 (直営診療施設勘定)	226,211	0.2	251,450	0.2	△25,239	△10.0
下 水 道 事 業 会 計	12,043,199	12.2	12,602,658	12.3	△559,459	△4.4
簡 易 水 道 事 業 会 計	3,615,132	3.6	3,856,068	3.8	△240,936	△6.2
農 業 集 落 排 水 事 業 会 計	6,737,204	6.8	7,005,640	6.8	△268,436	△3.8
特 定 環 境 保 全 公 共 下 水 道 事 業 会 計	16,171,213	16.3	16,716,343	16.3	△545,130	△3.3
個 別 排 水 処 理 事 業 会 計	63,818	0.1	64,668	0.1	△850	△1.3
企 業 会 計	13,602,962	13.7	13,471,131	13.1	131,831	1.0
水 道 事 業 会 計	1,052,531	1.1	1,139,300	1.1	△86,769	△7.6
病 院 事 業 会 計	12,550,431	12.6	12,331,831	12.0	218,600	1.8
計	99,103,352	100.0	102,683,613	100.0	△3,580,261	△3.5





中心市街地活性化協議会	600
中津川市観光協会	2,200
坂下観光協会	900
福岡観光協会	570
蛭川観光協会	328
馬籠観光協会	1,800
根の上高原観光事業	360
中津川夏まつり	4,000
中津川風流おどり保存連合会	1,300
坂下イベント事業	5,150
川上イベント事業	2,660
加子母イベント事業	1,300
付知イベント事業	4,032
福岡イベント事業	3,815
蛭川イベント事業	3,982
山口イベント事業	5,500
神坂イベント事業	200

#### 文化スポーツ部関係 8,973

中津川市姉妹都市友好推進協会	4,596
民間国際交流事業	100
幡豆町交流事業(付知)	100
対馬市交流事業(蛭川)	1,000
小諸市・大磯町交流事業(山口)	450
阿木川湖ロードレース大会	150
スポーツクラブ	1,032
坂下還暦マラソン大会	360
地区運動会	1,185

#### 基盤整備部関係 244,563

まちなみ景観形成事業	7,000
農林漁業資金償還元利補給金	77,760
苗木地区県営ほ場整備事業	11,279
阿木南部地区県営ほ場整備事業	6,528
坂本北部地区県営ほ場整備事業	364
神坂地区中山間地域農村活性化総合整備事業	642
団体営ほ場整備事業	2,377
加子母ほ場整備事業	6,481
フォレストコミュニティ総合整備事業	114,285
林道開設事業償還元利補給金	3,513
木造住宅等耐震診断事業	1,000
木造住宅等耐震補強事業	12,600
住宅資金利子補給金	734

#### 水道部関係 56,167

家庭用合併処理浄化槽設置整備事業	56,114
水洗便所等改造資金利子補給金	53

#### 消防本部関係 500

女性防火クラブ	500
---------	-----

#### 教育委員会関係 98,041

遠距離通学費	10,020
教育研究会	315
遠距離通園バス事業	304
低年齢児保育対策事業	11,593
延長保育対策費	21,040
障害児保育対策費	1,990
一時保育事業	2,724
私立幼稚園助成事業	5,940
私立幼稚園就園奨励費	43,365
保育所地域活動事業	750

#### ■特別会計

#### 下水道事業会計 508

水洗便所等改造資金利子補給金	508
----------------	-----

#### 農業集落排水事業会計 423

水洗便所等改造資金利子補給金	423
----------------	-----

#### 特定環境保全公共下水道事業会計 636

水洗便所等改造資金利子補給金	636
----------------	-----

#### 個別排水処理事業会計 56

水洗便所等改造資金利子補給金	56
----------------	----

	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	( )
	197,191	17,463	6,374	225		8,688	39	119	80,094	33,094					343,287
	25,401	782,880	647,055	335,427		249,881	85,743	294,454	420,501	531,512					3,432,834
	16,897	955,183	346,904	242,624		144,937	54,052	175,778	307,030	232,047					2,535,512
	29,848	220,389	222,490	112,913	978	68,303	23,083	79,315	113,680	204,651					1,075,650
		100							200						300
		945													945
		76,081	428,219	72,908	11,158	12,539	2,519	3,257		504,135					1,110,816
		1,872	4,780	26,713	780	7,821	200	1,726	144	31,701					75,737
	8,875	4,790	999	458	111	1,632	1,187	948	4,421	3,707					27,128
	600	1,400							50	150					2,200
	2,450	157,994	232,382	520,618	2,912	72,202	40,442	168,426	64,652	910,479					2,172,557
	51	107,791	31,620	37,658	584	4,333	796	3,274	18,837	40,602					245,546
	4,164	517,455	843,836	803,894	6,665	146,015	63,697	533,263	36,448	457,217					3,412,654
	273	123,653	13,675	9,885	1,599	6,030	15,705	17,130	7,539	59,511					255,000
		750,387	3,150	20,160		222,704	10,871	650,953	6,760	303,599					1,988,584
		2,868	357	14,795		8,510	890	21,953	786	1,200					51,359
						1,000		144,980							145,980
	40	5,628	19,254	615		5,874			39,402	97,818					168,631
	4,752	113,577	807,888	1,317,599	26,438	1,012,702	349,561	70,806	67,937	164,315					3,935,555
		192	2,546,187	11,036						34,799					2,582,214
					28,500		53,500			124,000					206,000
		84,549				2,936		88,521							176,065
		103,501										5,945,202			6,048,703
		8,600					241								8,841
		21,400	10	5,051		40				1,018					27,519
		6,467						73	4,075						10,615
			1,430,155	271,319		566,489		2,239,795							4,507,758
															5,000
	230,542	4,065,145	7,585,315	3,863,888	79,725	2,542,725	702,526	4,494,781	1,172,586	3,795,555		5,945,202		5,000	34,543,000
	0.84	11.77	21.96	11.19	0.23	7.36	2.03	13.01	3.39	10.99		17.21		0.01	100.00
		446,718	2,213,688	48,414	11,578	582,619	5,827	266,001	19,700	109,383					3,703,928
		699,600		273,900		233,200	5,000	588,300	17,900	177,900					1,995,800
		205,641	903,559	353,714	33,877	113,472	76,195	290,146	8,135	660,752					3,061,245
	230,542	2,713,186	4,468,038	3,187,870	34,270	1,613,434	615,504	3,350,334	1,126,851	2,847,520		5,529,448		5,000	25,782,027

